

第 59 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 4 年 4 月 22 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第59回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和4年4月22日 (金) 14:00~16:20

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事 : 森健輔会長、  
青野時彦副会長 (事業担当)、  
永井烈副会長 (総務担当)、  
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当、財務担当)、  
宮丸 正人 理事

Web出席理事 : 西 豊彦 理事 (コンプライアンス担当)  
小川 幹雄 理事 (国際渉外担当)、伊東 邦比古 理事  
伊東 正示 理事、崎山 征雄 理事、西村 岩夫 理事

欠席理事 : 長谷川 祥久

出席監事 : 間瀬 勝一

欠席監事 : 尾澤 輝行

有効理事総数 12名、出席理事 11名、欠席理事 1名

出席率 91.7% 監事1名、事務局(1名)、計13名

議事録署名人 (書記) 宮丸 正人

議事録要旨 : 定例理事会

定足数確認 : 有効理事総数 12名中、11名の出席、監事1名、事務局(1名)にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

### 3. 報告事項

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1) 業務報告       | 森健輔会長    |
| 2) 事業報告       | 青野時彦副会長  |
| 3) 財務報告       | 中川堅司専務理事 |
| 4) 総務報告       | 永井烈副会長   |
| 5) 国際協力報告     | 小川幹雄理事   |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事    |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 |
| 8) 事務局報告      | 中川堅司専務理事 |
| 9) その他        |          |

#### 4. 審議事項

第 1 号議案	令和 3 年度事業報告承認の件	資料-2
第 2 号議案	令和 3 年度収支決算報告承認の件	資料-3
第 3 号議案	令和 4 年度通常総会議事次第承認の件	資料-4
第 4 号議案	定款改訂の件	資料-5
第 5 号議案	選挙管理委員会提出理事監事立候補の件	資料-6
第 6 号議案	令和 4 年度通常総会について	資料なし
第 7 号議案	社員総会運営規則改訂の件	資料-7
第 8 号議案	理事会運営規程改訂の件	資料-8
第 9 号議案	JATET 名刺の英文表記について	資料-9
第 10 号議案	株式会社アセント 賛助会員 A 入会の件	資料-10
第 11 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 木村 文一氏 教育研修部会退部の件	資料-11
第 12 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 弘 周一郎氏 教育研修部会入部の件	資料-12
第 13 号議案	正会員 A ヤマハサウンドシステム株式会社 竹内 薫氏 教育研修部会入部の件	資料-13
第 14 号議案	正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 木村 朋和氏 教育研修部会退部の件	資料-14
第 15 号議案	正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 名嶋 雅行氏 教育研修部会入部の件	資料-15
第 16 号議案	第 28 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募の件	資料-16
第 17 号議案	Inter BEE 2022 協力名義の使用許可お願いの件	資料-17
第 18 号議案	JATET 誌 91 号について	資料なし
第 19 号議案	有限会社 香山建築研究所 正会員 B 入会の件	資料-18
第 20 号議案	正会員 C 長谷川 祥久氏 退会の件	資料-19
第 21 号議案	正会員 A 丸茂電機株式会社 鈴木 一博氏 教育研修部会退部の件	資料-20
第 22 号議案	正会員 A 丸茂電機株式会社 千早 宏之氏 教育研修部会入部の件	資料-21
第 23 号議案	賛助会員 A 株式会社アセント 橋崎 立嗣氏 音響部会入部の件	資料-22
第 24 号議案	賛助会員 A 株式会社アセント 浅見 勉氏 映像部会入部の件	資料-23

#### その他

- 1) 第 60 回臨時理事会開催日程 (5 月 26 日) について
- 2) 閉会

### 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

### 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録記録署名人選出。出席理事の中から議長が宮丸正人氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

## 3. 報告事項

### 1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 58 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 4 年 3 月 15 日（火）14:00～ 第 70 回事業執行連絡委員会

令和 4 年 4 月 13 日（水）14:00～ 第 71 回事業執行連絡委員会

### 2) 事業報告

青野時彦副会長（資料-1、各部会資料）

各部会の活動報告については、閲覧—事業報告、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料及び資料-1 を参照のこと。

**教育研修部会**では、

- ・ 姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」を特集とした JATET ジャーナル 19 号を 3 月末に発行した。
- ・ JATET ジャーナル 20 号は、那覇文化芸術劇場「なは一と」を特集する。今年度の事業となるが、昨年度執筆依頼書を送付しており、今年 8 月の発行を予定している。
- ・ 今年度、予定している施設見学会会場の「山形県総合文化芸術館」担当者は、嶋原副部会長であったが退部に伴い、嶋原氏に別の担当者を決めていただく予定。
- ・ 部会入部についてヒビノスペーステックの片山氏は療養中ではあるが、ヒビノスペーステックとして入部していただき、代理出席で部会参加をお願いするように進めていく。
- ・ KYB ステージエンジニアリングについては、今のところ再入部の予定はない。
- ・ 木村文一部会長、嶋原副部会長とこの後に審議を予定している木村朋和副部会長の退部に伴い、基本的に機構、照明、音響で 1 名ずつ選任し、部会長 1 名、副部会長 2 名で構成していく内容に基づいて選任し、部会長はパナソニック（株）新加入者、副部会長にはサンケンエンジニアリング（株）の島村氏とヤマハサウンドシステム（株）の新加入者の 2 名に決定した。後ほど新加入の 2 名について審議いただく。

**建築部会**では、前回開催の理事会から大きな動きはなし。

**機構部会**では、

- ・ 未来の駆動部については特に進展はなし。
- ・ ライトブリッジ・バトン比較研究会については、部会に参加していない JATET 会員の機構メーカーに協力依頼をメールにて行い受諾いただいたメーカーと部会内のメーカーに対して作成依頼を行う予定とする。
- ・ 3 月末に規格「JATET-M-6030-4 吊物機構安全指針・同解説」を発行し 4 月 1 日より頒布を開始している。
- ・ 4 月 1 日より藪内部会長に代わり山本部会長が就任された。

**照明部会**では、

- ・ 舞台照明で使用する分岐ケーブルの使用制限および分岐数についての注意喚起を JATET ホームページへ掲載した。

音響部会では、

- ・4月1日より西村部会長に代わり結城部会長が就任された。
- ・4月に入り、3月末に結城氏が緊急入院されたとヒビノスペーステック株式会社から連絡が入り、しばらくは退院できる目処が見えない模様。新部会長を選任するか当分の間、前部会長の西村理事に部会長代理を務めていただく予定とする。
- ・2022年度の部会年間スケジュールについて、従来金曜日の15:00からの開催としていたが、木曜日の16:00からにスケジュールを変更することとした。
- ・日本音響家協会から継続研究の打診があり、彩の国さいたま芸術劇場の映像ホールを検証会場として使用させていただけることになり、継続して音響電源に関する研究を進めていく。
- ・日本舞台音響家協会の講演で、TOA(株)松本氏の「100Vをバランス電源化することによりノイズがゼロに近づく」という内容を受講した。特にその場では200Vに関する言及はなかったが、音響電源研究会に松本氏を招いて、次回の研究会から参加いただく。
- ・劣化診断については進展はなく、連絡設備も進展はないが次年度から指針改訂の作業を行っていく。
- ・製品の供給状況について、半導体・FPGAなどの生産量が安定しない。医療市場などが優先されており、音響業界への割り当て見通しが立たない状況で、工期などに影響していると議論があり、劇場にインストールしていく上での問題になっている。
- ・3月8～9日にST2110の疎通試験を池上通信機様の場所を借りて行い、疎通試験に関しては問題なく疎通が出来たということで、今後この規格を元に劇場ホールで採用されていくかは別として、映像、音声、コントロールが一つのファイバーに乗せて運用出来るので、かなり劇場ホールとしても魅力的な規格であることを皆で認識した。

映像部会では、

- ・4月1日より為ヶ谷部会長に代わり、平井部会長が就任された。
- ・ST2110疎通試験は、YouTubeで一般公開した。

広報部会では、前回開催の理事会から大きな動きはなし。

イ. JATET誌について

- ・90号(冬号)は、2月末に発行した。

ロ. JATETジャーナル19号

- ・姫路市文化コンベンションセンター「アクリエひめじ」を特集としたジャーナルをホームページで発行した。

3) 財務報告

中川専務理事(閲覧資料一なし)

- ・毎月、永井副会長、中川専務理事の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており問題はない。
- ・令和3年度会費未納者は、賛助会員が1名であり、今年度に2年分まとめて請求する。
- ・4月1日に尾澤会計事務所の中村氏と事業決算の作業を済ませており、後ほど令和3年度事業報告書、決算書の審議をお願いします。

4) 総務報告

永井副会長

- ・特別報告事項はないが、事務局関連及び請求書等の閲覧資料をご覧いただきたい。

## 5) 国際協力報告

小川幹雄理事

・OISTAT 本部からの報告として、アビー・コーヘン会長と EC (エグゼクティブ・コミッテ  
ィ：理事会) よりロシア・ウクライナ危機に関する OISTAT 声明が発表された。先日の事業  
執行連絡会では声明を読み上げたが、OISTAT 日本センターのホームページにも掲載されてい  
るので、お目を通していただきたい。また、本部委員会の委員長改選が予定され、8月のカ  
ルガリーWSD における会議での選挙が実施される。委員長の改選がある委員会はテクノロジ  
ー・コミッション (技術委員会)、パブリケーションズ&コミュニケーション・コミッシ  
ョン (広報委員会)、サウンド・デザイン・サブ・コミッション (音響デザインサブ委員会)  
となる。この3つの委員長が改選になる。

## 6) コンプライアンス報告

西豊彦理事

・報告事項なし

## 7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

・昨年 11 月の理事会で審議いただいた定款の改定案について、通常総会で審議、承認を得  
る為に、総会の議案書として修正箇所を整理して、現行のものと改定案の比較表を作成し  
た。コロナ禍の中での会議体のあり方について、Web 会議も可とすることを明記した方が  
良いということで、社員総会運営規則と理事会運営規程を修正して改定案を検討した。後  
ほど審議をお願いする。

## 8) 事務局報告

中川堅司専務理事

### イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

・3月28日に「令和4年度事業計画書、予算書」の内閣府への申請・届出を完了した。

・内閣府 公益法人メールマガジン 第138号 (令和4年2月16日発行)、第139号 (令  
和4年3月2日発行)、第140号 (令和4年3月16日発行)、第141号 (令和4年3月30  
日発行)、を閲覧した。

### ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より、資料が届いている。

- ・コロナウイルス関連の周知依頼としてテレワーク等の徹底、新型コロナウイルス感染症ま  
ん延防止等重点措置に関する周知のお願いが届いた。
- ・3月の自殺対策強化月間についての周知依頼、下請取引の適正化及び下請中小企業の振興  
に対する受注側企業の状況調査、調査結果の分析等についての依頼、成年年齢引下げ後に  
成年に達した若年層に対する適切な対応について協力依頼が届いた。
- ・3月1日付で、劇場内作業における墜落・転落災害防止対策の徹底について、中央労働基  
準監督署から通達が届いた。

令和3年の休業4日以上労働災害は令和4年1月末時点の速報値で12,016件発生してお  
り、この内10%以上の1,417件を墜落・転落災害が占めている。中央署管内の劇場でも、  
移動式足場上で資材の運搬作業を行っていた労働者が2.85メートルの高さから墜落して頭  
を強打し、重度の障害を負うという災害が発生している。

概要としては、移動式足場を上に乗った状態で移動させ、ヘルメットについての記載は  
無いが、保護帽も未着用だったと思われる。

職場の安全衛生自主点検表のチェックリストが付いているので、特に墜落・転落災害に対す  
る重要事項などを確認して対策に努めていただき、併せて、フルハーネス型安全帯 (墜落  
制止用器具) 等の情報が入っているので確認いただきたい。

- ・免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する Q&A の改正、価格交渉促進月間のポスターの周知について、地方自治体及び民間事業者等によるワクチン接種歴や検査結果確認の取り組みの考え方に関する周知のお願いが届いた。

総務省からの情報は特になし。

## ハ. JATET ニュース発行について

- ・3月11日に JATET ニュース第 228 号を発行。

主な内容は、JATET 誌 90 号の発行、令和 4 年度通常総会を 5 月 26 日に開催する件及び正会員向けに役員改選について、ホームページにも掲載したが、舞台照明で使用する分岐ケーブルの使用制限と分岐数についての注意事項など。

また、新規入会の募集、新規部会委員の募集について案内を掲載した。

第 229 号は来週発行予定。

## ニ. 会員情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-会員情報

- ・正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 木村 文一氏 教育研修部会 退部（審議事項）
- ・正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 弘 周一郎氏 教育研修部会 入部（審議事項）
- ・正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 木村 朋和氏 教育研修部会 退部（審議事項）
- ・正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 名嶋 雅行氏 教育研修部会 入部（審議事項）
- ・正会員 A ヤマハサウンドシステム株式会社 竹内 薫氏 教育研修部会 入部（審議事項）
- ・株式会社アセント 賛助会員 A 入会（審議事項）
- ・正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 会員登録内容変更（代表者、担当者の変更）
- ・正会員 A 丸茂電機株式会社 会員登録内容変更（担当者所属の変更）
- ・正会員 B 株式会社アール・アイ・エー 会員登録内容変更（代表者変更）
- ・正会員 C 長谷川 祥久氏 会員登録内容変更
- ・賛助会員特別 公益財団法人神奈川芸術文化財団 会員登録内容変更（代表者・担当者変更）
- ・賛助会員 B 秋月 宏文氏 会員登録内容変更

その他、ヤマハサウンドシステム株式会社 代表取締役 武田信次郎氏の後任として平井智勇氏が就任したとのお知らせが届いている。

審議事項については、後ほど審議をお願いする。

## ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-諸団体情報

- ・一般社団法人日本美術家協会から、「第 1 回伊藤熹朔記念賞選考展」後援名義使用のお願い書面が届いた。期限が 3 月 10 日となっており、理事会承認は間に合わないため、会長、副会長と相談して後援名義使用の許可を承諾し 3 月 10 日に承諾書を送付した。
- ・第 28 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募について案内書面が届いている。後ほど審議いただく。
- ・Inter BEE 2022 協力名義の使用許可お願いについて書面が届いた。後ほど審議いただく。

芸団協メールニュース：2/15（458号）、2/16（臨時号）、3/1（459号）、3/15（460号）、4/1（461号）、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：2/15（126号）、2/22（臨時号）、3/15（127号）  
その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

#### へ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事  
閲覧資料なし

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・昨年 2021 年度は、4 月から 3 月末までの累計で、238,000 円の売り上げとなっている。
- ・2022 年 4 月から現時点までで 8,470 円の売上である。

#### ト. 請求書情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-請求書情報

株式会社テトラロジックスタジオから JATET ニュース配信、ウェブサイト管理更新、JATET 誌 90 号制作編集費の請求、その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、公益社団法人全国公立文化施設協会会費の請求書関連を閲覧した。

#### チ. HP について

中川堅司専務理事  
閲覧資料-HP アクセス解析

- ・JATET ホームページのアクセス解析・・・2 月～3 月までの HP 閲覧状況を資料に示し閲覧した。
- 2 月のページビュー数は 2,262、ページ別訪問数は 1,692  
3 月のページビュー数は 3,696、ページ別訪問数は 2,885

#### リ. 事務局関連

中川堅司専務理事  
閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
  - ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。
  - ・4 月 12 日に監事監査を行った。
- 報告事項は以上。

#### 4. 審議事項

##### 第 1 号議案 令和 3 年度事業報告承認の件

資料-2

令和 3 年度の事業計画に基づき実施した事業について、中川専務理事より資料-2 を使って説明があった。

総会の議案書となる令和 3 年度事業報告書の案。

会議について、令和 3 年度通常総会は令和 3 年 5 月 26 日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面総会として事務局会議室及び Web 会議方式にて、限られた執行理事と部会長の出席により開催した。

総会での審議事項は全員賛成、反対 0 名で承認されている。

定例理事会は、令和 3 年度において第 55 回から 58 回まで 4 回開催して、審議事項はすべて可決承認されている。

事業執行連絡委員会は、月 1 回、年間 12 回開催。

部会報告は、各部会長から提出いただいた内容を記載。1) 教育研修、2) 建築、3) 機構、4)

照明、5)音響、6)映像、7)広報の7部会の順に、令和3年度の活動について報告。

JATET フォーラム 2020/21 を2年越しでオンライン配信として実施。JATET 誌は、機構部会担当の89号を特集「JATET フォーラム 2020 総括－配信における劇場の課題と今後の可能性」を9月末に発行、建築部会担当の90号を特集「再生する劇場」として2月末に発行。JATET ジャーナルは、年度末にVol.19 「アクリエひめじ」を発行、JATET ニュースは、第222号から第228号まで計7回発行。JATET リーフレットは改訂版をホームページに掲載し、英語版の検討案を作成している。

中川専務理事の説明の後、令和3年度事業報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

## 第2号議案 令和3年度収支決算報告承認の件

資料-3

令和3年度収支決算について、中川専務理事より資料-3を使って説明があった。

主な点は、下記の通り。

総会の議案書となる令和3年度事業に係る収支決算報告の案を示す。

貸借対照表について、資産の部は、前年度と比較して流動資産が2,800,000円ほど減り、その他固定資産は640,000円ほど減っており資産の合計は約3,500,000円の減となった。負債の部の合計は約600,000円となり、前年度より105,000円ほど増えている。正味財産合計は8,000,674円、負債及び正味財産の合計は8,608,628円となった。

正味財産増減内訳表の経常増減の部、経常収益について、正会員Cに1名、賛助会員Bに1名入会をいただき、受取入会金は35,000円となった。会費収入は正会員Aが20社、Bが5社、Cが30名、賛助会員Aは24社、Bは31名、特別賛助会員が9団体で、受取会費は15,210,000円となった。

事業収益について、2020年度に配信予定だったJATET フォーラム 2020/21 オンラインセミナーを2021年度に配信しJATET フォーラム、セミナー開催収益は477,700円となった。

また、コロナ禍で施設見学会は開催出来ず収益ゼロとなった。

発刊物販売収益は302,610円、JATET 誌の広告収益は、89号で16社、90号で18社の掲載があり合計7,700,000円弱の収益となった。

経常費用の事業費について、部会費は0円となった。JATET 規格作成費は、機構部会の規格を発行しており116,800円となり、JATET フォーラム、セミナー開催費はコンテンツ制作費などで2,487,818円となった。

JATET ジャーナルは、施設見学会の開催はなかったが、施設紹介ということで19号を発行、297,039円が発生した。

ホームページ運用費、JATET News 発行費はほぼ例年通り、JATET 誌は89号、90号をそれぞれ2300部の発行となり、5,022,000円ほどの出費となった。

その他の諸経費を含めて事業費の合計は20,480,773円、管理費はほぼ例年通りの内容で6,789,290円となり、経常費用の合計は27,270,063円となった。

当期経常増減額は、マイナス3,566,646円となり、正味財産期末残高は8,000,674円となった。

財務諸表に対する注記として、特定資産については令和2年度用に特定費用準備金2,500,000円を積み立てていたが、昨年度にJATET フォーラム 2020/21 オンラインセミナーが持ち越しで開催になったので、事業が終了した後に取り崩し、令和5年度用に特定費用準備金を2,000,000円積み立て、これにより当期末残高は3,200,000円となった。

財産目録は、流動資産が 4,245,164 円、固定資産が 4,363,464 円で資産合計は 8,608,628 円、負債額を引いた正味財産は 8,000,674 円となる。

収支相償については、公益目的事業比率は 50.6%となり、ぎりぎりでも 50%以上を確保している。遊休財産の保有制限についても適合している。

中川専務理事の説明の後、令和 3 年度収支決算報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

### 第 3 号議案 令和 4 年度通常総会議事次第承認の件 資料-4

中川専務理事より資料-4 に基づいて、令和 4 年度通常総会議事次第の説明があった。

審議事項は下記の通り、

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 令和 3 年度収支決算報告承認の件

第 3 号議案 定款改訂の件

第 4 号議案 社員総会運営規則改訂の件

第 5 号議案～第 18 号議案

令和 4 年度役員選任承認の件 令和 4 年度理事監事立候補者名簿

続いて報告事項は下記の 2 件。

第 1 号報告 令和 4 年度事業計画の報告の件

第 2 号報告 令和 4 年度収支予算の報告の件

中川専務理事の説明の後、令和 4 年度通常総会議事次第承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

5 月 26 日の令和 4 年度通常総会では、この議事次第通りに進行する。

### 第 4 号議案 定款改訂の件について 資料-5

中川専務理事より資料-5 に基づいて、第 4 号議案 定款改訂の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、

11 月の定例理事会で審議いただいた内容に基づいて、定款の改定案を総会での議案として取りまとめたものである。

冒頭に修正項目を記載して、その後に現行の定款と改定案の比較表を示した。

修正項目は、

・第 1 条（名称）：協会の英文名称は従来、“Theatre And Entertainment Technology Association, Japan”とされていたが、協会の略称“JATET”の語順に合わせて“Japan Association of Theatre And Entertainment Technology”に変更する。

・第 10 条（退会）：「提出された退会届は、理事会で承認する」と追記した。

・第 27 条（選任）：8 項「定款第 7 条 2 項」の「定款」を削除し、「第 7 条 2 項」とする。

・第 34 条（責任の免除又は限定）：3 項「理事の職務権限規程」を「理事会運営規程」に修正した。

・第 61 条（備付け書類及び帳簿）：2 項「第 64 条に定める情報公開規程」を「第 63 条に定める情報公開規程」に修正した。

・各条項について、「条」には「第〇条」と「第」を付すことで統一し、「項」「号」には「第」を付さないことで統一した。

中川専務理事の説明の後、定款改訂の件についての承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### 第5号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補の件について 資料-6

中川専務理事より資料-6に基づいて、第5号議案 選挙管理委員会提出理事監事立候補の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、

- ・理事候補者として12名、監事候補者として2名の方が立候補されている。
- ・選挙管理委員会で承認された「令和4年度 理事監事立候補者名簿」を示す。
- ・本日の理事会で審議、承認されたら、立候補者お一人1議案として総会議案書に掲載する。

中川専務理事の説明の後、選挙管理委員会提出理事監事立候補の件についての承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### 第6号議案 令和4年度通常総会について 資料なし

中川専務理事より、第6号議案 令和4年度通常総会についての説明があった。説明の内容は下記の通り、

- ・2月の理事会で令和4年度通常総会の会議室会場及び懇親会会場について、審議をいただいたが、現在、60～80名程度が収容出来るエッサム神田1号館の会議室を総会場所として予約している。
- ・新型コロナウイルス感染状況は横ばいではあるが、会議室はWEB形式も併用できる環境で参加については、書面総会として開催（執行理事及び部会長のみ参加）か、正会員全員を対象としたリアル参加かのどちらかでご審議いただきたい。
- 事務局としては、現状のコロナ禍の中で以前のようなリアル総会を開催するのは難しい。昨年と同様に、執行理事及び部会長に総会会場またはWeb会議形式で参加していただき、正会員の方には基本的に議決権を行使していただいて、希望される方については総会会場またはWeb会議形式での参加も可とする方向で進めたい。
- また、懇親会をベルギー料理レストランのシャン・ドゥ・ソレイユか近隣の中華料理店を候補としているが、懇親会を開催するかどうか、また開催する場合の会場についてもご審議をお願いしたい。2月の理事会でも確認した通り、開催する場合は人数を制限することになる。
- ・5月6日に発送予定の総会開催案内の内容にも関わるため、よろしくをお願いしたい。

中川専務理事の説明の後、以下の3案について審議を行った。

- ①執行理事及び部会長のみリアル参加又はWeb会議形式での参加とした書面総会とする案
  - ②執行理事及び部会長のみリアル参加又はWeb会議形式での参加とした書面総会とし希望者は総会会場またはWeb会議形式での参加も可とする案
  - ③正会員がリアル参加にする案
- 令和4年度通常総会についての承認について決議に入り、
- ②執行理事及び部会長のみリアル参加又はWeb会議形式での参加とした書面総会とし希望者は総会会場またはWeb会議形式での参加も可とする案が全員一致で可決承認された。

次に、第6号議案 令和4年度通常総会懇親会開催についての決議に入り、賛成5名、反対4名となり、以下反対の意見となった。

- ・コロナの状況が不明により第6波、第7波の感染拡大の懸念があり、時期が悪い。
- ・新たなオミクロン株が今後どうなるのかわからない。など

反対意見を受け、再度決議を行い、懇親会は開催しないことが全員一致で可決承認され

た。

#### 第7号議案 社員総会運営規則改訂の件について

資料-7

中川専務理事より資料-7に基づいて、第6号議案 社員総会運営規則改訂の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、社員総会運営規則について、コロナ禍の中での会議体のあり方として、リアルの会議以外にWeb会議を認める内容を記載した方が良いということで、改定案を検討した。社員総会運営規則は、通常総会にて審議承認を得る必要があるため、本日の理事会で承認いただけたら通常総会の議案書に記載して、審議に諮ることになる。

修正箇所は、第10条（社員等の出席）に第5項として「5 社員総会は、出席者が一堂に会すると同時に、相互に十分議論できる環境であれば、Web会議、テレビ会議、電話会議などにより開催することも可能にする」と追記した。

その他に修正、改訂箇所はなし。

附則には、本年度の総会の翌日となる5月27日から改訂施行することにする。

中川専務理事の説明の後、定款改訂の件についての承認について審議に入り、以下の意見があった。

西村理事：電話会議で意思疎通できるか疑問がある。

中川専務理事：内閣府からの通達により、総会、理事会等はWeb会議、テレビ会議、電話会議での開催も可とする旨があり、同文面を引用したことを理由とした。

再度審議に入り、理事会では、Web会議等を表現として残し、テレビ会議、電話会議を削除することで文面を変更することを条件に、全員一致で可決承認された。

#### 第8号議案 理事会運営規程改訂の件について

資料-8

中川専務理事より資料-8に基づいて、第8号議案 理事会運営規程改訂の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、先ほどの社員総会運営規則と同様に、理事会における会議体のあり方についてもWeb会議を認める内容を記載したいということで、理事会運営規程の改訂を検討した。修正箇所は、第4条（開催）の第3項に「3 理事会は、出席者が一堂に会すると同時に、相互に十分議論できる環境であれば、Web会議、テレビ会議、電話会議などにより開催することも可能とする」と追記した。その他に修正、改訂箇所はなし。本日の理事会で承認いただけたら、来週4月25日から改訂施行することを考えている。

中川専務理事の説明の後、定款改訂の件についての承認について審議に入り、第7号議案と同様に、理事会では、Web会議等を表現として残し、テレビ会議、電話会議を削除することで文面を変更することを条件に、全員一致で可決承認された。

#### 第9号議案 JATET名刺の英文表記について

資料-9

中川専務理事より資料-9に基づいて、第9号議案 JATET名刺の英文表記の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、現在のJATET名刺の英文表記について、特に部会の表記が“department”となっていることについて修正が必要ということで、事業執行連絡委員会の中で議論した。4月を迎えて、新たに名刺を作成する必要があることから、執行理事の皆様から出た意見をもとに現行からの修正案として一覧表を作成した。会長、副会長、理事、監事は現行のものを基本に検討しているが、部会は“committee”又

は“commission”とする案が出ており、どちらかを採用することで検討している。昨日開催された映像部会では、Stage Visuals’ としている。海外では Visuals’ が正式な名称としている。現実には、Stage Visuals’ というカテゴリーが既に存在しており、Webで検索すると多くの画像が出てくる。表を修正する必要があるが、部会では Stage Visuals’ Committee が良いのではないかとの意見があった。Commission では手数料と言うような意味で使うことが多いので、Committee が良いという部会の意見であった。広報部会においては、Publication では出版の意味があるので、Publicity が良いのではないかという意見があった。

中川専務理事の説明の後、JATET 名刺の英文表記についての承認について審議に入り、ご意見・ご質問を伺った。

ご意見：

小川理事：Stage Visuals については映像部会で決めていただければ良いことだと思う。平井さんのご意見にあったようにプロジェクター（投影機）を使用したプロジェクション（投影）と LED パネル（LED の自発光で映像が写される）など様々なタイプがあるのでプロジェクションで統一するのはどうかと言う話があった。様々なデバイスがあるので、Stage Visual Devices という言い方もあり、デバイスの在り方が違うということで Devices と複数形になるという意見であった。様々な方式があるので、複数形になることは合点のいくところである。ただ、Visual は元来、舞台の視覚的な表現（装置、照明、衣裳等）すべてを括る意味で長きにわたり使われていることがあるので、映像という一つのディビジョンを的確・明確に言えるような単語があれば尚いいのではないか。USITT の中でデジタルメディアという括り方があって、そこに映像も入っているようだが、いまだにフィルムで静止画を投影することも映像の一部であるので、デジタルでないものも含まれる故、映像という概念がデジタルで括れるものでもない。「デジタルメディア」で映像を表現することにはならない。Committee と Commission とで、“ee” とある場合は、委託される、選ばれるなど、請われる側の意味合いが強い表現であると思う。

西理事：Committee と Commission との違いは、“ee” の意味は、雇われたというほど強い意味ではなく、委任されたという意味であり、自薦で立候補した場合も、“ee” がつくので、より大きな組織の中から選ばれた小さなグループの人々で、その組織のために働くという意味が大きい。Commission の方は語源的には Co と Mission に分かれており、Co は協働して、Mission はある一つの仕事をするという意味であり、Committee はある特別な一定の仕事を行うために誰かを公式に選ぶことという意味である。その組織が自分たちだけで行うのではなく、他の人たちも選んで特別な仕事を行うことを意味する。Commission がつくのは、公正取引委員会、公安委員会、宇宙開発委員会だけで、他は Committee である。JATET の場合は、通常の部会は Committee、フォーラムとか技術展のために設ける実行委員会が Commission であることが相応しい。OISTAT の方は Commission になっているが、おそらく組織の在り方が JATET の部会と異なると思われる。

小川理事：OISTAT が舞台美術や劇場建築や舞台技術等の委員会を Commission としている。理事会に相当する EC は Executive Committee である。USITT のイベントでの照明とか音響とか、映像とかの括りは、Commission になっている。スペシフィックな専門的に集まる括りを Commission としているように思えるが、それは OISTAT でも同様である。Committee は、例えば、安全委員会とか衛生委員会であるとかその他、各会員の異なる専門を越えた横断的な内容の括りとして使われているのではないかと思う。理事会のエグゼクティブ・コミッティも同様。JATET の場合の建築、照明、音響、映像とかの部会は、

ABTT にも USITT にも Committee のところには出てこない。Commission で出てくる。

西理事：基本的には Commission の本当の意味と言うのは、その母体の組織とは別にある権限を与えられ、独立性をもった組織であるということで、その意味で部会には当てはまらないと考える。

小川理事：JATET が今後どのような取り組みをしていくのか、例えば安全であるとか衛生であるとか、技術展にしてもフォーラムにしても、特に部会（Commission）を越えて横断的に行うところは、Committee とするのが良いのではないか。いずれにせよ、実施している内容に合致する名称を付けるべきだと思う。事業執行連絡委員会で提案させて頂いた、教育研修部会=Theatre Research Commission、建築部会=Theatre Architecture Commission、等々。ただ誤解を招かぬようお断りしておきたいが、自己主張に拘泥しているわけではない。より多くの意見を募って深く議論を持ち、時間を掛けて検討していくことがベターだと考える。

森会長：承認はできないので、継続協議とさせていただき、本理事会では結論出しは行わない。協会の英文表記は別審議事項で審議を行う。

#### **第 10 号議案 株式会社アセント 賛助会員 A 入会の件**

資料-10

中川専務理事より資料-10 に基づいて、株式会社アセント 賛助会員 A 入会の件について説明があった。

中川専務理事の説明の後、第 10 号議案 株式会社アセント 賛助会員 A 入会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### **第 11 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 木村 文一氏 教育研修部会退部の件**

資料-11

令和 4 年 3 月 4 日付で教育研修部会への退部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 木村 文一氏 教育研修部会退部の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### **第 12 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 弘 周一郎氏 教育研修部会入部の件**

資料-12

令和 4 年 4 月 1 日付で教育研修部会への入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 弘 周一郎氏教育研修部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### **第 13 号議案 正会員 A ヤマハサウンドシステム株式会社 竹内 薫氏 教育研修部会入部の件**

資料-13

令和 4 年 4 月 4 日付で教育研修部会への入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A ヤマハサウンドシステム株式会社 竹内 薫氏教育研修部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### **第 14 号議案 正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 木村 朋和氏 教育研修部会 退部の件**

資料-14

令和 4 年 3 月 23 日付の退部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 木村 朋和氏 教育研修部会退部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 15 号議案 正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 名嶋 雅行氏 教育研修部会 入部の件** 資料-15

令和 4 年 3 月 23 日付の入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 名嶋 雅行氏教育研修部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 16 号議案 第 28 回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者推薦の件** 資料-16

中川専務理事の説明の後、審議に入り、今年度は「推薦者なし」と回答することが全員一致で可決承認された。

**第 17 号議案 Inter BEE 2022 協力名義の使用許可お願いの件** 資料-17

中川専務理事の説明の後、審議に入り、今年度も「使用可」と回答することが全員一致で可決承認された。

**第 18 号議案 JATET 誌 91 号について** 資料なし

中川専務理事より、第 18 号議案 JATET 誌 91 号についての説明があった。説明の内容は下記の通り、編集担当について、例年だと、JATET 誌 91 号は夏頃、JATET 誌 92 号は冬頃の発行となる。

今年度、JATET 劇場演出空間技術展や JATET フォーラムの開催は、コロナウイルス感染拡大の影響で開催については、現時点では未定となる。

夏号発行予定の JATET 誌は、持ち回り部会担当となり、順番で照明部会が担当となる。6 月頃には広告掲載の申込を発送予定となる。

編集テーマ等は、部会が担当となった場合、部会で方針（案）を取りまとめ、進めることになる。また、冬号はコロナウイルスの感染拡大の状況にもよるが、JATET フォーラムのような技術系 5 部会ではなく、研究発表の場として参加できる部会でのセミナーなど開催できれば、セミナーの特集号、もしくは持ち回り部会担当で発行できればとまだ検討段階である。

中川専務理事の説明の後、審議に入り、JATET 誌 91 号は照明部会が担当することが全員一致で可決承認された。

以下の審議事項は、審議事項追加後に届いた事項になる。

**第 19 号議案 有限会社香山建築研究所 正会員 B 入会の件** 資料-18

令和 4 年 4 月 21 日付の入会届が提出された。

中川専務理事の説明の後、有限会社香山建築研究所 正会員 B 入会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 20 号議案 正会員 C 長谷川祥久氏 退会の件** 資料-19

令和 4 年 4 月 21 日付の退会届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 C 長谷川 祥久氏退会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 21 号議案 正会員 A 丸茂電機株式会社 鈴木 一博氏 教育研修部会退部の件** 資料-20

令和4年4月18日付の退部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 丸茂電機株式会社 鈴木 一博氏教育研修部会退部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 22 号議案 正会員 A 丸茂電機株式会社 千早 宏之氏 教育研修部会入部の件**

資料-21

令和4年4月18日付の入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 丸茂電機株式会社 千早 宏之氏教育研修部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 23 号議案 賛助会員 A 株式会社アセント 橋崎 立嗣氏 音響部会入部の件**

資料-22

令和4年4月18日付の入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A 株式会社アセント 橋崎 立嗣氏音響部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

**第 24 号議案 賛助会員 A 株式会社アセント 浅見 勉氏 映像部会入部の件**

資料-23

令和4年4月18日付の入部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A 株式会社アセント 浅見 勉氏映像部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 60 回臨時理事会開催日程 (5月26日) について

- ・ 第 60 回臨時理事会は令和4年5月26日 (木) の定期総会終了後に予定する。

2) 閉会

16時20分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和4年4月22日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第59回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 森健輔)	森 健輔	
監事 (尾澤輝行)	欠序	印
監事 (間瀬勝一)	間瀬 勝一	
議事録作成署名人 (宮丸正人)	宮丸 正人	

第 60 回 臨時理事会  
議事録（正）

令和 4 年 5 月 26 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

1. 開催日時及び場所

日 時：令和 4 年 5 月 26 日（木）16：30～17：24

場 所：エッサム神田ホール 1 号館 3 階 大会議室 301 号室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2 TEL : 03-3254-8787

2. 出席理事数及び出席者氏名

出席理事数：12 名（理事総数 12 名）

会場出席 9 名、WEB 出席 3 名

出席監事数：2 名（監事総数 2 名）

会場出席 2 名、WEB 出席 0 名

欠席理事数：0 名

欠席監事数：0 名

出席理事名：青野 時彦、内池 善蔵、永井 烈、宮丸 正人、

森 健輔、伊東 正示、小川 幹雄、中川 堅司、西 豊彦 以上 9 名会場出席

西奈美 博、西村 岩夫、長谷川 祥久 以上 3 名 WEB 出席

出席監事名：尾澤 輝行、間瀬 勝一

3. 議事次第

1)開会

2)議長選出

3)議事録記録署名人選出

4)議事

第 1 号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定

会長（代表理事） 伊東 正示 氏 株式会社シアターワークショップ/代表取締役

副会長（第 1） 永井 烈 氏 丸茂電機株式会社/営業部 嘱託

副会長（第 2） 内池 善蔵 氏 三精テクノロジーズ株式会社/  
舞台機構事業本部・技師長

副会長（第 3） 西村 岩夫 氏 ヤマハサウンドシステム株式会社/取締役

専務理事 中川 堅司 氏 音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

5)閉会

4. 議事の経過の概要とその結果

1)開会

役職理事が決定していないため、事務局員の永田が開催の確認をした。

全員異議なし

審議に先立ち、定款第 41 条（招集）について確認をした。

定款第 41 条（招集）

2 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的

記録により、開催日の1週間前までに通知しなければならない。

- 5 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。

この理事会は、選挙に先立ち、理事、監事立候補者の全員より、当選後は臨時理事会に出席することを承諾済である。

当協会の定款第43条（定足数） 「理事会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。」の規定に従い定足数を確認した。

理事構成員12名中、出席9名、WEB出席3名、欠席0名で過半数の出席を確認した。

出席監事は2名。

以上により、本日の第60回臨時理事会の成立を宣言した。

## 2) 議長選出

定款第42条（議長）で「理事会の議長は、会長がこれにあたる。」と定められているが、役職理事が決定していない。

理事会運営規程で、

第6条（理事会の議長）

- 3 理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれに当たる。と定められているので、当日選出された新役員の内から議長の選出をした。

前会長である森 健輔氏に議長をお願いする案を事務局から提案し全員一致で可決承認され、森 健輔氏を議長に選出。

## 3) 議事録署名人選出

定款第46条（議事録）の規定に従い、議事録記録署名人1名の選出を行った。

青野 時彦理事に議事録記録と署名人をお願いした。

青野 時彦理事は、これを承諾した。

## 4) 議案の審議

<第1号議案 代表理事、副会長、専務理事の選任及び業務担当執行理事の決定>

定款第27条（選任）

- 2 代表理事、副会長、専務理事及び専門の業務担当理事は理事会において選任する。と定めており、この臨時理事会にて直ちに役職理事を決定する必要がある。

従来、役職理事については、選挙の立候補の届出を受けた後、直近の理事会にて役職理事候補を推薦してから総会後の臨時理事会に諮るのが通例だが、今回はコロナ禍の中、推薦が遅れたため、前会長、副会長、専務理事の中で検討した。検討の結果、次の5名を役職理事候補として推薦する。

会長（代表理事）	伊東 正示氏	株式会社シアターワークショップ/代表取締役
副会長（第1）	永井 烈氏	丸茂電機株式会社/営業部 嘱託
副会長（第2）	内池 善蔵氏	三精テクノロジーズ株式会社/舞台機構事業部・技師長
副会長（第3）	西村 岩夫氏	ヤマハサウンドシステム株式会社/取締役
専務理事	中川 堅司氏	音響（エヌ・ケー・サウンドラボ）

副会長の順位は、

#### 第8条（副会長）

(2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって会長の業務執行に係る職務を代行する。

と定められており、副会長がその順位に従い会長の職務を代行する。

代表理事、副会長、専務理事の選任について決議を行い全員一致にて可決承認された。

尚、代表理事 伊東正示氏は、席上就任を承諾した。

（代表理事が決定したので、森健輔前会長から伊東正示会長に議長を交代）

業務担当執行理事について、

#### 定款第26条（種類及び定数）

3 本会の会長を代表理事とし、副会長、専務理事に加え、専門の業務担当理事の3人を限度として、「一般社団・財団法人法」第91条第1第2号に規定する業務執行理事とする。

と定められている。

理事立候補者の名簿を基に、前副会長及び事務局長と相談し、次の提案を行った。

理事の職務権限規程

#### 第7条（会長）

(1) 代表理事として本会を代表し、その業務を統括し執行する。

と定められているため、

統括責任者 伊東 正示（イトウ マサジ）会長の担当とする。

#### 第8条（副会長）

(1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定められているため、事業担当、財務担当は下記のように選任した。

事業担当 永井 烈（ナガイ レツ）副会長

前期は総務を担当していたが、今期より JATET フォーラムなどの事業を担当とする。

財務担当 内池 善蔵（ウチイケ ゼンゾウ）副会長

今期からの理事就任だが、財務担当とする。

総務担当 西村 岩夫（ニシムラ イワオ）副会長

今期から総務担当とする。

内池氏と西村氏には前執行部からの推薦として、事務局から打診をした。

#### 第9条（専務理事）

(1) 事務局を統括するとともに、会長及び副会長を補佐し、本会の業務を執行する。

と定められているので、

事務局統括 国内渉外担当 中川 堅司 (ナカガワ ケンジ) 専務理事  
が前期から引き続き担当をする。

次に定款第 26 条の定めにより、専門の業務担当理事として、国際渉外担当、  
コンプライアンス担当、規定改定作業部会担当の 3 名を選任した。

国際渉外担当 小川 幹雄 理事

国際渉外担当は、OISTAT 及び KTL との関係があり、OISTAT 副会長でもあることから、  
前期に続き、国際交流をより活発化していきたい観点により人選を行った。

コンプライアンス担当 西 豊彦 理事

前期から引き続き担当をする。

規程改訂作業部会担当

規程改訂作業部会担当 中川 堅司 専務理事

各種規程については、各種法令の改訂施行に併せて常に見直しが必要でもあること、併せて定款  
の見直しも引き続き必要になるので、前期に続き中川専務理事にお願いした。  
業務執行担当理事について決議を行い、推薦内容の通りで、全員一致にて可決承認された。

6 月の事業執行連絡委員会の日程を決定した。

6 月 13 日 月曜日 14:00～

顧問選出について審議を行った。

定款第 35 条 (顧問及び参与)

2 顧問及び参与は、学識経験者又は本会に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、  
会長が委嘱する。と定められている。

前期と同様に今期も顧問はなしとする。

全員一致にて可決承認されたので、今期の顧問は不在とする。

本日の審議事項は以上とする。

次回の第 61 回定例理事会の日程を下記日時に決定をした。

第 61 回定例理事会 8 月 26 日 金曜日 14 時～ JATET 会議室にて開催

5) 閉会

17 時 24 分 中川事務局長が閉会を宣言し終了した。

令和4年5月26日

上記議事録を明確にする為、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名押印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

第60回臨時理事会

役職	署名	捺印
青野 時彦 理事	青野 時彦	
内池 善蔵 理事	内池 善蔵	
永井 烈 理事	永井 烈	
西奈美 博 理事	西奈美 博	
西村 岩夫 理事	西村 岩夫	
宮丸 正人 理事	宮丸 正人	
森 健輔 理事	森 健輔	
伊東 正示 理事	伊東 正示	
小川 幹雄 理事	小川 幹雄	
中川 堅司 理事	中川 堅司	
西 豊彦 理事	西 豊彦	
長谷川 祥久 理事	長谷川 祥久	
尾澤 輝行 監事	尾澤 輝行	
間瀬 勝一 監事	間瀬 勝一	

第 61 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 4 年 8 月 26 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第 61 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和 4 年 8 月 26 日 (金) 14:00~16:15

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事 : 伊東正示会長、  
内池善蔵副会長 (財務担当)、  
森健輔理事  
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)、  
Web 出席理事 : 西村岩夫副会長 (総務担当)、  
西豊彦理事 (コンプライアンス担当)、  
西奈美博理事、長谷川祥久理事、青野時彦理事  
小川幹雄理事 (国際渉外担当)、  
欠席理事 : 永井烈副会長 (事業担当)、宮丸正人理事  
出席監事 : 間瀬勝一  
Web 出席監事 : 尾澤輝行

有効理事総数 12 名、出席理事 10 名、欠席理事 2 名  
出席率 83.3% 監事 2 名、事務局 (1 名)、計 13 名

議事録署名人 (書記) 西奈美 博

議事録要旨 : 定例理事会

定足数確認 : 有効理事総数 12 名中、10 名の出席、監事 2 名、事務局 (1 名) にて本理事  
会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

### 3. 報告事項

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1) 業務報告       | 伊東正示会長               |
| 2) 事業報告       | 永井烈副会長欠席 (代理 中川専務理事) |
| 3) 財務報告       | 内池善蔵副会長              |
| 4) 総務報告       | 西村岩夫副会長              |
| 5) 国際協力報告     | 小川幹雄理事               |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事                |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事             |
| 8) 事務局報告      | 中川堅司専務理事             |
| 9) その他        |                      |

#### 4. 審議事項

第 1 号議案	JATET フォーラム 2022/23 の件	資料-2
第 2 号議案	JATET 誌 91 号の件	資料-なし
第 3 号議案	JATET 名刺英文表記修正案の件	資料-3
第 4 号議案	小野寺 健治 氏 賛助会員 B 入会の件	資料-4
第 5 号議案	今成 歩 氏 賛助会員 B 入会の件	資料-5
第 6 号議案	賛助会員 B 渡辺 恵治孫 氏 退会の件	資料-6
第 7 号議案	正会員 C 稲生 眞 氏 退会の件	資料-7
第 8 号議案	JATET 部会入部申込、退部承認の件	資料-8
第 9 号議案	照明部会規格番号及び発行の件	資料-9
第 10 号議案	角崎 雄太 氏 正会員 C 入会の件	資料-10
第 11 号議案	JATET 誌のホームページへの公開と PDF ダウンロード問題の件	資料-11

#### その他

- 1) 第 62 回定例理事会 開催日程（11 月）について
- 2) 閉会

### 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により伊東正示会長を議長に選出した。

### 2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録記録署名人選出。出席理事の中から議長が西奈美博氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

## 3. 報告事項

### 1) 業務報告

伊東正示会長

下記の通り、第 59 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 4 年 5 月 16 日（月）14:00～	第 72 回事業執行連絡委員会
令和 4 年 6 月 13 日（月）14:00～	第 73 回事業執行連絡委員会
令和 4 年 7 月 11 日（月）14:00～	第 74 回事業執行連絡委員会
令和 4 年 8 月 8 日（月）14:00～	第 75 回事業執行連絡委員会

を開催した。

### 2) 事業報告

永井烈副会長欠席（代理 中川専務理事）（資料-1、各部会資料）

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。

詳細については、各部会資料及び資料-1 を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・本年度見学先候補は、「NHK ホール」、「山形県総合文化芸術館」とその他施設を検討審議中。
- ・JATET ジャーナル 20 号、那覇文化芸術劇場「なはと」は 8 月末の発行に向け現在編集作業中。
- ・施設見学について、教育、研修企画も併せて行うべきとの意見があり議論を行った。従来から見学会のカリキュラムに、施設建設に携わったコンサル、設計、運営管理、他の方々に好意的に発表してもらえる時間を組み込んで実施してきたが、今後、次世代の方々に魅力ある企画を工夫していく必要がある。また、JATET 会員減少傾向を改善するためにも、会員以外へも広く告知し、参加してもらうことが JATET を盛り上げていくことに繋がるという意見でまとまった。
- ・施設見学会の WEB 化について、予算の作りこみや準備が大変との意見が出たが今後も継続的に議論していく。

建築部会では、

- ・今年、来年度のテーマは劇場の基準、指針を検討していく。
- ・ABTT の技術基準に記載あることを読み解き、国内と比較して方向性を出す議論をした。
- ・JATET フォーラムについて部会での方針を議論した。

機構部会では、

- ・未来の駆動部については特に進展なし。
- ・ライトブリッジ・バトン比較研究会については、図面が集まったので設計思想などの質疑を進めていく予定。

照明部会では、

- ・4 月 26 日に第 41 回演出空間用 LED 照明器具表示規格研究会を開催した。
- ・JATET 誌 91 号の特集は「演出空間用 LED 照明器具の安全確保のための表示ガイドライン」

と「ホール運用の聞き取り調査」を進めており現在、編集作業に入っている。

- ・ JATET-L-22010「演出空間用 LED 照明器具の安全確保のための表示ガイドライン」を作成した。後ほど審議をお願いする。

**音響部会**では、

- ・ JATET-S-6010:2016「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」の在庫が少なくなり 100 冊増刷した。
- ・ 劣化診断については、エンジニアリング会社の保守担当者を研究会メンバーに選出して進めていく。
- ・ 舞台連絡設備の指針改定は草案が出来たので、図表作成などの作業を進めていく。
- ・ 映像部会との ST 2110 共同研究会は、キックオフミーティングを開催した。

**映像部会**では、

- ・ 部会内で今年の研究テーマは①メディア拡張の ST2110 について、②映像演出は『劇場端子盤の多様性について』、③コンテンツ上映に必要なスペックについての説明を行った。
- ・ 劇場メディア拡張の一貫で取り組んでいる ST2110 映像部会・音響部会共同研究会のキックオフミーティングを行い、随時その時の資料は JATET HP に掲載している。
- ・ メディア拡張研究会は、より実践的な取り組みとして 8 月にミキサ疎通試験をヤマハサウンドシステム（株）の蛸殻町事務所にて行う予定。また、9 月 2 日に国立劇場にて ST 2110 信号疎通デモを実施する。
- ・ フォーラムを開催する場合、実践を行った結果報告の場とし、建築、劇場運営者と議論が出来れば良いと考えている。京都のロームシアターよりフォーラムを京都で行いたいとの要望もあり、IP リモートで遠隔地でのシンポジウム開催も来年度に実施出来ないか検討中。

**広報部会**では、

- ・ JATET フォーラム 2022/23 が開催されれば協力していく。
- ・ JATET 誌について、昔の JATET 誌は内容も充実していて、「用途」とか「劇場とは」がテーマにあって、面白い印象があり、劇場・ホール・コミュニティの関係や、日常と非日常に劇場の原点があるのでその意味を問う、など部会で意見がでた。
- ・ 広報部会の誌面担当については、会員紹介記事を企業に任せると PR に終始するので、広報部会員が取材し、第三者視点で会員企業の特徴をとらえた方が面白いとの意見がでた。
- ・ JATET 誌を無料化していることについては、お金を払っても読みたいものにするのが先決であり、概要を HP に掲載して、千円程度でダウンロードできるようにしてはどうかとの意見もでた。

**イ. JATET フォーラム 2022/23 について**

- ・ 8 月 24 日に第 1 回 JATET フォーラム 2022/23 実行委員会を開催した。
- 開催について、後ほど審議をお願いする。

**ロ. JATET 誌について**

- ・ 91 号（夏号）は、10 月末発行予定であり、7 月に広告掲載申込依頼書を送付済み。
- 現時点で 13 社から掲載申込がある。

**ハ. JATET ジャーナル 20 号**

- ・ 「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号を 8 月末頃ホームページに公開予定。

### 3) 財務報告

内池善蔵副会長（閲覧資料-財務報告）

- ・毎月、内池副会長、西村副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認を  
しており問題はない。
- ・令和4年度会費について、7月末を締切としていたが、現時点での未納者は正会員 A3 社、  
正会員 B1 社、正会員 C5 人、賛助会員 A1 社、賛助会員 B6 人である。この理事会が終了後  
に再請求書を発送予定。

### 4) 総務報告

西村岩夫副会長

- ・望月事務局員は、7月1日より時短勤務からフルタイムとなった。

### 5) 国際協力報告

小川幹雄理事

5月にOISTAT本部から2021年の年次報告が公開された。6月にOISTAT日本センターのニュースを発行した。内容はアビー・コーヘン会長とエグゼクティブ・コミッティーによるロシア・ウクライナ危機についてのOISTAT声明、8月開催のWSD2022の紹介となっている。WSD2022は、カナダのカルガリーで8月6日から16日まで開催された。日本センターからはオンライン参加を試みたが、時差が15時間あり、会議は午後11:00からと午前2:30からの開催となった。オンラインの国際会議の一つの問題点と思う。技術委員会と広報委員会の本部の新委員長には各々1名ずつ立候補があり、どちらも満場一致で承認された。

8月8日の事業執行連絡委員会で、名刺英文表記案の提示を国際渉外でまとめ、本日の理事会審議に間に合わせるよう指示があり、3日前に提出した。

### 6) コンプライアンス報告

西豊彦理事

- ・報告事項なし

### 7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

- ・4月の第59回定例理事会で承認された定款の改定案について総会議案書として取りまとめ、令和4年度通常総会において可決承認された。内閣府には改訂された定款を提出して了解を得ている。会議体の運営について、リアル会議以外にWeb会議を認める内容を記載した方が良いということで、社員総会運営規則と理事会運営規程を見直し、第59回定例理事会で承認を得た後、社員総会運営規則を令和4年度通常総会の議案書として上程し、可決承認された。

### 8) 事務局報告

中川堅司専務理事

#### イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

- ・定款の改定、役員の変更、代表理事の交代について、変更の届出を済ませた。
- ・6月27日に「令和3年度事業報告書、決算書」の届出を済ませたが修正の指示があり、再提出した。
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第143号（令和4年4月27日発行）、第144号（令和4年5月18日発行）、第145号（令和4年6月1日発行）、臨時号（令和4年6月10日発行）、第146号（令和4年6月15日）、臨時号（令和4年6月17日）、第147号（令和4年6月29日）、臨時号（令和4年6月30日）、第148号（令和4年7月13日）、臨時号（令和4年7月21日）、第149号（令和4年7月27日）、臨時号（令和4年8月4日）を閲覧した。

#### ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より、資料が届いている。

- ・原材料・エネルギーコスト増の影響を受ける下請事業者に対する配慮についてのお願いが

届いた。

- ・ 振興基準改定案に関するパブリックコメントの実施について情報共有依頼が届いた。
- ・ 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）の周知、活用の観奨について周知依頼が届いた。
- ・ 中堅中小向け「DX 推進の手引き」地域別説明会の開催について周知依頼が届いた。
- ・ PCB 廃棄物に関する説明会について周知依頼が届いた。
- ・ 「デジタルの日」開催周知・協力依頼について周知依頼が届いた。
- ・ 出勤者数の削減（テレワーク等の徹底）に関する周知依頼が届いた。
- ・ マイナンバーカードの取得促進に向けての周知依頼が届いた。
- ・ 新型コロナワクチンの3回目接種に関する周知依頼が届いた。

総務省からの情報は特になし。

#### ハ. JATET ニュース発行について

4月28日に第229号を発行。

主な内容は、令和4年度通常総会・役員改選、令和4年度 JATET 年会費、JATET ジャーナル vol.19「アクリエひめじ」公開、JATET-M-6030-4「吊物機構安全指針・同解説」改訂4版 発行、映像部会・音響部会共同研究会、会員情報の変更等、新規入会募集、新規部会委員募集について掲載した。

7月29日に第230号を発行。

主な内容は、令和4年度通常総会 開催報告 役員改選、令和4年度 JATET 年会費、JATET 事務局 夏季休業のお知らせ、JATET 誌91号 広告掲載 募集、新入会員企業のご紹介、JATET 誌89号・90号 ホームページ公開、JATET-M-6030-4「吊物機構安全指針・同解説」改訂、会員情報の変更等、新規入会募集、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

## ニ. 会員情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-会員情報

- ・ 正会員 A ヤマハサウンドシステム(株) 佐川 清達氏 映像部会入部(審議事項)
- ・ 正会員 A(株)橋田舞台設備 橋田太知氏 機構部会退部(審議事項)
- ・ 正会員 A(株)橋田舞台設備 佐々木勝彦氏 機構部会退部(審議事項)
- ・ 賛助会員 A (株)システムエンジニアリング 井関 隆太氏 音響部会退部(審議事項)
- ・ 賛助会員 A (株)システムエンジニアリング 小河原 康昭氏 音響部会退部(審議事項)
- ・ 賛助会員 A (株)システムエンジニアリング 河内 正博氏 音響部会入部(審議事項)
- ・ 賛助会員 B 渡辺 恵治孫氏 退会(審議事項)
- ・ 賛助会員 B 渡辺 恵治孫氏 映像部会退部(審議事項)
- ・ 小野寺 健治氏 賛助会員 B 入会(審議事項)
- ・ 小野寺 健治氏 映像部会入部(審議事項)
- ・ 今成 歩氏 賛助会員 B 入会(審議事項)
- ・ 今成 歩氏 映像部会入部(審議事項)
- ・ 正会員 A 不二装備工業株式会社 会員登録内容変更(代表者、担当者の変更)
- ・ 正会員 A 三菱重工機械システム株式会社 会員登録内容変更(代表者、担当者の変更)
- ・ 正会員 A ヒビノスペーステック株式会社 会員登録内容変更(担当者の変更)
- ・ 賛助会員 A カヤバCS(株) 会員登録内容変更(社名、代表者の変更)
- ・ 正会員 C 稲生眞氏が7月1日にご逝去された。
- ・ 正会員 A (株)東京舞台照明、三精テクノロジーズ(株)、東芝ライテック(株)、賛助会員 A カヤバCS(株)より役員交代のお知らせが届いた。

## ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-諸団体情報

- ・(公社)全国公立文化施設協会から、令和4年度研究大会(山形大会)の開催案内、報告が届いた。
- ・第1回伊藤熹朔 記念賞 贈賞式の案内、報告が届いた。
- ・「第15回プラハカドリエンナーレPQ2023」後援名義依頼が届いた。回答期限が7月末までに連絡する必要がある、執行理事により賛否を確認し、賛成多数により許可することを決定した。
- ・OISTAT 日本センターよりニュース発刊誌が届いた。
- ・世田谷パブリックシアターより舞台技術講座 46 t h のお知らせが届いた。
- ・日本建築学会、日本照明家協会より新しい執行体制のお知らせが届いた。
- ・芸団協メールニュース：5/2 (463号)、5/12 (臨時号)、5/16 (464号)、5/23 (臨時号)、6/1 (465号)、6/15 (466号)、6/25 (臨時号)、7/1 (467号)、7/1 (臨時号)、7/15 (468号)、7/22 (臨時号)、8/1 (469号)、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：4/21 (臨時号)、5/16 (129号)、6/15 (130号)、7/15 (131号) その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

## ヘ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事  
閲覧資料なし

規格販売状況(別紙資料参照)

- ・2022年4月から現時点までで347,400円の売上である。

## ト. 請求書情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-請求書情報

株式会社テトラロジックスタジオから総会議案書、規格制作編集費の請求、ニュース配信、HP更新、その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

## チ. HPについて

中川堅司専務理事  
閲覧資料-HPアクセス解析

・JATET ホームページのアクセス解析・・・4月～7月までのHP閲覧状況を資料に示し閲覧した。

4月のページビュー数は3,200、ページ別訪問数は2,402

5月のページビュー数は2,637、ページ別訪問数は2,063

6月のページビュー数は2,741、ページ別訪問数は2,168

7月のページビュー数は2,951、ページ別訪問数は2,269

## リ. 事務局関連

中川堅司専務理事  
閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。
- ・役員就任の挨拶状を会員、関係各所に発送済み。
- ・JATET 誌 91号掲載「令和3年度事業報告・令和4年度事業計画」原稿締切9月9日までとなる。
- ・第75回事業執行連絡委員会にて議論された「部会委員名簿のホームページへの掲載方法」と「ホームページ上の部会長挨拶の確認と見直しについて」報告する。まず、「部会委員名簿のホームページへの掲載方法」について、JATET ホームページに記載内容の書式は各部会で合わせ、部会委員名簿を掲載しているが、個人情報保護法の観点から、記載内

容について今のままでよいのか議論された。名簿の内容は、個人が特定されるものは消されており会員種別、氏名、会社名、所属部署・役職、JATET の役職であり、個人情報保護の観点では特に問題ないと考え、議論の結果、現在のままの形式で名簿を掲載し、名簿の順番は部会長、副部会長、そのあとの委員は審議にかける場合、各人が一票を持っており順位はないので、氏名の五十音順で全部会統一することとなった。次に、「ホームページ上の部会長挨拶の確認と見直しについて」、各部会、掲載内容の統一がなく部会の活動方針と当年度の活動計画を書いてある場合があり、数年前の活動のままのものもあり、部会長名が前任者のままのものもある。挨拶文についてルールがないので、書き方のルールと、部会長名の入れる・入れないを統一したらどうか、部会長挨拶は個人的な思いが書かれていて、活動内容は客観的な紹介であるので切り分けて考えた方がよい。などの意見があった。議論の結果、広報部会で作成した JATET リーフレットとダブっており、現在、ホームページの改定の時期にきているので、広報部会が併せて見直すことで進めることになった。

報告事項は以上。

#### 4. 審議事項

##### 第 1 号議案 JATET フォーラム 2022/23 の件

資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づいて、第 1 号議案 JATET フォーラム 2022/23 の件についての説明があった。

新型コロナウイルスの感染者が全国的に高止まりの中、今年度の JATET フォーラム開催について、部会長の皆様にヒアリングした結果、今後の感染拡大の状況を見ながら、開催する方向で検討することになった。事業担当の永井副会長を実行委員長として、各部会から実行委員の人選を行い、別紙にあるように実行委員会を組織して、今週 8 月 24 日に第 1 回のフォーラム実行委員会を開催した。具体的な開催テーマについては、メディアとしての劇場・ホールの可能性を IP 伝送技術から探るなどの案に加えて、今年度の各部会事業計画に基づく活動状況報告を行う方向で進めることを考えている。開催方法については、リアル開催を基本としてコンテンツを収録し、本番終了後にコンテンツを編集したものを配信する方向で検討するという意見が多く出ている。開催時期は、今年度中に実施するとなると、来年 2 月～3 月になると思われるが、年内中には詳細を決定して広報が必要となると、会場は千代田区の内幸町ホールを第一候補としている。本日は、今年度の JATET フォーラムの開催に関し、その可否、実行委員会人選について審議いただく。

中川専務理事の説明の後、JATET フォーラム 2022/23 の審議に入り、フォーラムの開催および実行委員会人選について、全員一致で可決承認された。

##### 第 2 号議案 JATET 誌 91 号の件

資料なし

中川専務理事より第 2 号議案 JATET 誌 91 号の件についての説明があった。

前回の理事会にて、JATET 誌 91 号の編集担当は、照明部会が担当することで承認されている。まず、特集テーマについて、今号は照明部会の事業計画に基づいた「演出空間用 LED 照明器具の安全確保のための表示ガイドライン」、「ホール運用の聞き取り調査」について特集する。記事は、今回、照明部会のみ執筆となる。まず、特集テーマについて審議をお願いしたい。

次に、JATET 誌発行について、現在、建築、機構、照明、音響、映像の技術系 5 部会が持ち回りで編集担当として、まとめてきており、以前は広報部会がなかったため技術系 5 部会が担当したが、今後は広報部会に誌面の検討など意見をもらっているためイニシアチブをとっていただいたり、各部会に協力依頼を出すようにして進めていくのはどうかとの意

見があった。持ち回りで部会が編集担当の場合、技術的なことに偏ってしまい、特定の大きなテーマが扱いにくい。一方で別の編集組織でまとめるとマンパワーが必要となる。編集するには、テーマ決めから執筆依頼と半年以上の時間が必要である。誌面の構成を見直して、シリーズものコラムなどと、特集のテーマを各部会が担当し編集をまとめる部署をつくる。外部から編集する人を雇うのがよいが、予算の問題がある。担当部会は編集後記まで書かなければならないが、常に編集に携わっていればよいが、スポットの編集担当だと意見が書きづらい面がある。多数の意見をまとめると、現状今まで通り部会持ち回り制とし、広報部会のかかわり方、誌面の構成の仕方、各部会の担当制の考え方、有料化を前向きに考えていく方向性で進めていきたいと思う。方向性について審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、第2号議案 JATET 誌 91 号の件について審議に入り、ご意見・ご質問を頂いた。

西理事：読み物として、担当部会でなくても面白い内容が必要と思う。会員紹介としては、宣伝ではない企業カラーや風土の紹介がいいのではないかと。有料化の目的の一つとしては、価格を設定することにより、会員は無料でもらえる訳で、そのメリットを感じてもらえること、販売によって財政に貢献することがあげられる。

ご意見・ご質問を頂いた後、JATET 誌 91 号特集テーマの審議に入り、全員一致で可決承認された。  
次に JATET 誌の方向性の審議に入り、説明通りの方向性とするので、全員一致で可決承認された。

### 第3号議案 JATET 名刺英文表記修正案の件

資料-3

中川専務理事、小川理事より資料-3に基づいて、第3号議案 JATET 名刺英文表記修正案の件の説明があった。

JATET の名刺英文表記について見直しが必要となり、事業執行連絡委員会の中で議論を繰り返したが、8月に入ってかなり時間も経過していることから、国際渉外担当の小川理事に協力いただき修正案をまとめた。資料-3に、日本語に対して現行のものと修正案を示し、備考として説明を入れていただいた。内容について、小川理事からご説明いただく。

小川理事より

補足説明で国際渉外担当理事から提示したことと、国際渉外担当理事の国際関連の略歴を示した。また OI STAT の名称を参考にし、名刺英文表記に関することを中心にまとめている。OI STAT は元々、10年以上 JATET の一機関であり公社になり再分離したが、以降も密接な関係にある。名刺表記に関する英文氏名の順について、日本政府機関の名刺表記は“OGAWA Mikio”で姓が先に来る。諸外国では名前-姓の順で表記されることが多く、国際会議などでは呼び合う時に混乱することもある。JATET 現行の名刺は“MIKIO OGAWA”。個人的に現状では“Mikio OGAWA”で良いのではないかと思う。

会長は統括責任者の意を含めて“President”、副会長は“Vice President”とし、副会長には( )付きで役職を示す。事業担当は“Project”、財務担当は“Finance”、総務担当は“Administration”とした。

専務理事(国内渉外担当)は“Executive Managing Director(Domestic Exchange)”、執行理事(国際渉外担当)は“Executive Director(International Exchange)”執行理事(コンプライアンス担当)は“Executive Director(Compliance)”とした。

規程改訂作業部会は恒常的な部会か？規程の策定改訂が終了したら無くなるものか？(小川質問)

⇒規程の中には定款も含まれ、各種規定は法令の改正などによって定期的に見直す必要が

あるため、恒常的な作業部会として捉えた方が良いと考える。(中川応答)

それならば規定改訂作業部会は、他の部会“commission”と並べて表記せず、作業部会なので、“working group”が良いと思う。“Revision of regulations working group”を提示する。

監事は“Inspector”としていたが、財務監査を通して会の活動をチェックする仕事と考えると“Auditor”の方が適切と考える。部会長は“Chair”、副部会長は“Vice Chair”、事務局長は“Secretary General”とした。

各部会について、教育研修部会は“Theatre Observation”(観察・見学)や、“Theatre Research”(調査・研究)を提示したが、「教育研修」の和文名称は劇場側から受け入れやすいとの意見もあり“(Theatre) Study”を提示した。Studyは学習・研修と同時に調査・研究も意味し「教育」のニュアンスも含まれるので再提示とする。

建築部会は一般建築ではなく劇場建築なので“Theatre Architecture”と提示したが、名詞表記のJATETで“Theatre”が明記されており“Architecture”だけで良いと部会で決定とのこと。それに倣うなら、教育研修部会もTheatreを省略して“Study”だけでも可と思う。

機構はMechanism、System、Function、Facilityなど、さまざまな表記があるが、舞台の機構に特化するなら修正案の方が具体的で判りやすい。現行は“Machinery department”だが、修正案は“Stage machinery commission”としている。(資料表\*14では現行を修正案と勘違いして記述した=訂正)

照明はデザイン、オペレーション、機材全てを包含して“Lighting”、音響も同様に“Sound”が良い。映像は部会で討議決定した内容に異論は挟まない。広報は、現時点でPublicationやCommunicationまで広範ではないので、“Publicity”が妥当と考える。

中川専務理事、小川理事の説明の後、JATET名刺英文表記修正案について審議に入り、全員一致で可決承認された。

教育研修部会について“Theatre Study”とするか、Theatreを省いて“Study”とするかは部会での議論に任せたい。(小川)

今後、この結果を踏まえてホームページの英文化も進めていく。(西)

#### 第4号議案 小野寺 健治 氏 賛助会員B 入会の件 資料-4

中川専務理事より資料-4に基づいて、第4号議案 小野寺 健治 氏 賛助会員B 入会の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第4号議案 小野寺 健治 氏 賛助会員B 入会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### 第5号議案 今成 歩 氏 賛助会員B 入会の件 資料-5

中川専務理事より資料-5に基づいて、第5号議案 今成 歩 氏 賛助会員B 入会の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第5号議案 今成 歩 氏 賛助会員B 入会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### 第6号議案 賛助会員B 渡辺 恵治孫 氏 退会の件 資料-6

中川専務理事より資料-6に基づいて、第6号議案 賛助会員B 渡辺 恵治孫 氏 退会の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第6号議案 賛助会員B 渡辺 恵治孫 氏 退会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### 第7号議案 正会員C 稲生 眞 氏 退会の件

資料-7

中川専務理事より資料-7に基づいて、第7号議案 正会員C 稲生 眞 氏 退会の件についての説明があった。

稲生様が取締役を務めていらした(株)永田音響設計様より稲生 眞様が逝去されたのご連絡がFAXで届いた。稲生様は個人会員として正会員Cに入会されており、当協会には長年ご在籍していただき理事、音響部会部会長をお引き受けいただいた時期もある。通常は、法人会員の方が逝去された場合、法人の方に死亡届を提出していただいているが、稲生様は個人会員でいらしたので、FAXの書面を持って退会として手続きをさせていただいてよいか審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、第7号議案 正会員C 稲生 眞 氏 退会の件について審議に入り、ご意見・ご質問を頂いた。

伊東会長：個人会員が死亡した際の手続きに関する規則はあるか？

中川専務理事：規則はない。

伊東会長：会費についても不問にする。

ご意見・ご質問を頂いた後、第7号議案 正会員C 稲生 眞 氏 退会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### 第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件

資料-8

中川専務理事より資料-8に基づいて、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件についての説明があった。説明の内容は下記の通り、

各部会がまとめた今期の部会委員リストを示す。従来は、継続部会委員全員がJATET部会参加申込書をご提出いただいていたが、令和2年から適用の「部会入部・退部手続き内規」により、継続される部会委員の方につきましては部会参加申込書の提出は不要となった。部会も正式機関となり、部会出席は必須条件になるので、申込書には法規、定款、規程の遵守と出席を誓約していただいている。

まず、教育研修部会の新規申込、退部の方を報告する。教育研修部会の会員名簿を確認し、新規申込者なし、退部者なし。

建築部会の新規申込、退部の方を報告する。建築部会の会員名簿を確認し、新規申込者なし、退部者なし。

機構部会の新規申込、退部の方を報告する。機構部会の会員名簿を確認し、新規申込者なし、退部者は正会員A(株)橋田舞台設備 橋田 太知 氏 退部(7/31日付で退部届が提出された)、正会員A(株)橋田舞台設備 佐々木 勝彦 氏 退部(7/31日付で退部届が提出された)。

照明部会の新規申込、退部の方を報告する。照明部会の会員名簿を確認し、新規申込者なし、退部者なし。

音響部会の新規申込、退部の方を報告する。音響部会の会員名簿を確認し、新規申込者は賛助会員A(株)システムエンジニアリング 河内 正博氏 入部(6/16日付で入部届が提出された)、退部者は賛助会員A(株)システムエンジニアリング 井関 隆太 氏(6/16日付で退部届が提出された)、賛助会員A(株)システムエンジニアリング 小河原 康昭 氏(6/16日付で退部届が提出された)。

映像部会の新規申込、退部の方を報告する。映像部会の会員名簿を確認し、新規申込者は賛助会員B 池上通信機(株)今成 歩氏 入部(8/25日付で入部届が提出された)、賛助会員B オタリテック(株)小野寺 健治氏 入部(7/20日付で入部届が提出された)、正会員A ヤマハサウンドシステム(株)佐川 清達 氏 入部(5/10日付で入部届が提出された)、退部者は賛助会員B 渡辺 恵治孫 氏 退部(3/31日付で退部届が提出された)。

広報部会の新規申込、退部の方を報告する。広報部会の会員名簿を確認し、新規申込者なし、退部者なし。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について教育研修部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について建築部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について機構部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について照明部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について音響部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について映像部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 JATET 部会入部申込、退部承認の件について広報部会の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### **第9号議案 照明部会規格番号及び発行の件**

資料-9

中川専務理事より資料-9に基づいて、第9号議案 照明部会規格番号及び発行の件についての説明があった。

規格のまえがきにもあるが、演出空間用照明器具に対する安全確保のための表示ガイドラインに関しては、JATET-L-5080に規定されている。現在も有効に機能しているが、現在においては照明機器用の光源としてLEDを用いた機器が多くなっており、演出空間用LED照明器具に対しても安全を確保するための規定が早急に望まれている。このため、銘板類の表示規格は平成28年にJATET-L-16200として規定した。また、LED照明器具に対して、取り扱い説明書など他の媒体も含む、表示ガイドラインとして新たにL-22010として制定し記載項目、表示方法などを統一し使用者が安全に使用できる情報を目的として制定した。規格番号は、「JATET規格等の規格番号規程」を基にすると「JATET-L-22010」となる。また、当規格は書籍販売を予定しており照明部会の発行希望数は100部。現行のJATET出版物頒布価格設定基準では、30頁以下で一般頒布価格3,000円、会員頒布価格2,100円となっている。価格についてもご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、第9号議案 照明部会規格番号及び発行の件について、内容、頒布の際の一般価格3,000円、会員頒布価格2,100円の審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### **第10号議案 角崎 雄太氏 正会員C入会の件**

資料-10

中川専務理事より資料-10に基づいて、第10号議案 角崎 雄太氏 正会員C入会の件について説明があった。

8/10付で入会申込届が届いている。逝去された稲生眞様と同じ(株)永田音響設計に所属されている。

中川専務理事の説明の後、第10号議案 角崎 雄太氏 正会員C入会の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

#### **第11号議案 JATET誌のホームページへの公開とPDFダウンロード問題の件**

資料-11

中川専務理事より資料-11に基づいて、第11号議案 JATET誌のホームページへの公開とPDFダウンロード問題の件について説明があった。

西理事より、先日 JATET ホームページに公開した JATET 誌 89, 90 号を誰でも無料でダウンロードが可能であるが、問題ないのかの提議があった。お手元の資料は日経 BP より記事を抜粋した資料となるが、ダウンロードについて、「PDF データは二次使用権のない記事や写真は収録していない。基本的に雑誌を発行した時点での情報に基づいており発行後に生じた情報、判明した事実などに関して訂正は行わない。」などの注意書きがあり、掲載が必要と思われる。また、会員も非会員も関係なくダウンロードが可能なのも問題なのではないかとのご指摘をうけた。HP には、JATET 誌のバックナンバーは売り切れとなっているが、71 号以降は無料ダウンロードできるようになっていて矛盾している。バックナンバーについては執筆者に許諾をとっておらず、過去にさかのぼって許諾をとる作業は現実的でないので、公開を諦めた経緯がある。著作権で、誰でも閲覧可能が問題となるなら、すぐに閲覧できないように対処し、会員と非会員でダウンロードの有料・無料の仕分けの区切りが出来た段階で閲覧を再開するのはいかがか。

中川専務理事の説明の後、第 11 号議案 JATET 誌のホームページへの公開と PDF ダウンロード問題の件について審議に入り、全員一致にて、可決承認された。

その他

1) 第 62 回定例理事会（11 月）開催日程について

第 62 回定例理事会は、令和 4 年 11 月 25 日（金）14 時から開催予定

2) 閉会

16 時 15 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和4年8月26日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第61回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 伊東正示)	伊東正示	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (西奈美 博)	西奈美 博	

第 62 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 4 年 11 月 25 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第 62 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時 : 令和 4 年 11 月 25 日 (金) 14:00~15:38

場 所 : JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL : 03-5289-8858

出席理事 : 伊東正示会長、  
永井烈副会長 (事業担当)、  
青野時彦理事、森健輔理事  
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)、

Web 出席理事 : 内池善蔵副会長 (財務担当)、  
西村岩夫副会長 (総務担当)、  
小川幹雄理事 (国際渉外担当)、  
西豊彦理事 (コンプライアンス担当)、  
西奈美博理事、宮丸正人理事

欠席理事 : 長谷川祥久理事

Web 出席監事 : 尾澤輝行

欠席監事 : 間瀬勝一

有効理事総数 12 名、出席理事 11 名、欠席理事 1 名

出席率 91.6% 出席監事 1 名、欠席監事 1 名、事務局 (1 名)、計 12 名

議事録署名人 (書記) 森 健輔

議事録要旨 : 定例理事会

定足数確認 : 有効理事総数 12 名中 11 名の出席、監事 2 名中 1 名の出席、事務局 (1 名)  
にて本理事会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1) 業務報告       | 伊東正示会長   |
| 2) 事業報告       | 永井烈副会長   |
| 3) 財務報告       | 内池善蔵副会長  |
| 4) 総務報告       | 西村岩夫副会長  |
| 5) 国際協力報告     | 小川幹雄理事   |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事    |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 |
| 8) 事務局報告      | 中川堅司専務理事 |
| 9) その他        |          |

資料-1

#### 4. 審議事項

第1号議案	職員就業規則改訂の件	資料-2
第2号議案	JATET誌92号の件	資料なし
第3号議案	令和5年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件	資料なし
第4号議案	正会員A 不二装備工業(株)退会の件	資料-3
第5号議案	正会員C 高田 一郎 氏 退会の件	資料-4
第6号議案	正会員A ヤマハサウンドシステム(株)飯野 英樹氏 音響部会退部の件	資料-5
第7号議案	JATET誌のホームページへの公開とPDFダウンロードの問題について	資料なし
第8号議案	世界劇場会議国際フォーラムFinal in 可児 後援名義使用許可の件	資料-6

#### その他

- 1) 第63回定例理事会 開催日程(2月)について
- 2) 閉会

#### 1. 議長選出

定款第42条の規定により伊東正示会長を議長に選出した。

#### 2. 議事録記録署名人選出

定款第46条(議事録)の規定に従い議事録記録署名人選出。出席理事の中から議長が森健輔氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

#### 3. 報告事項

##### 1) 業務報告

伊東正示会長

下記の通り、第61回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和4年9月12日(月) 14:00～	第76回事業執行連絡委員会
令和4年10月12日(水) 14:00～	第77回事業執行連絡委員会
令和4年11月10日(木) 13:30～	第78回事業執行連絡委員会

を開催した。

##### 2) 事業報告

永井烈副会長(資料-1、各部会資料)

各部会の活動報告については、各部会資料で報告する。  
詳細については、各部会報告及び資料-1を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・施設見学会のWeb化を検討した。
- ・施設見学会の候補は、NHKホール、山形県総合文化芸術館(やまぎん県民ホール)、高崎芸術劇場となる。NHKホールはスケジュールについて確認中。山形県総合文化芸術館は見学会依頼を支配人あてメールにて送信し、実施に向け打合せを開始した。高崎芸術劇場は訪問した結果、年内の開催は難しいと回答があったが、仮押さえで2月1日と6日を申し込んでいる。

建築部会では、

- ・フォーラムのテーマは「地域文化施設の次代のキーワードを探る」で時間は質疑応答を含めて60分とした。
- ・香山建築研究所の長谷川氏がアイティアックから2023年開催予定の劇場と美術のカンフ

アレンスの要請があり、JATET 及び関係部署でサポートしてもらえないか要請が出ている。アイティアックはロンドン、東京、ニューヨークで活動しており、日本からはコトブキシーティングのお二方が個人で参加しているが、大きな話なので個人ではなく JATET として参加すれば良いのではないかと考えている。長谷川氏には窓口として活動してもらおうが、個人ではなく JATET の組織として対応する、窓口は建築部会が行い、関連する部署は協力するものとする。

機構部会では、

- ・ 未来の駆動部は進展なし。
- ・ ライトブリッジ・バトン比較研究は、研究会メンバーからの質疑事項がまとまった段階で各社に質問事項という形で提出予定。
- ・ 点吊装置型劇場についての調査・研究は、継続しており研究発表は来年度を予定している。
- ・ 舞台機構制御盤・操作盤周囲環境に対する指針は、11月に意見をまとめて部会で議論、12月に大枠を決め、年明けにリリース予定である。
- ・ 吊物バトン積載量表示指針は、3月末発行のため2月の部会を最終期限としてまとめるように進めていく。

照明部会では、

- ・ EMC 調査について、具体的な内容を決めていくためにキックオフ会議を実施する。

音響部会では、

- ・ 映像部会との共同研究で ST2110 疎通試験を9月2日国立劇場で実施した。
- ・ JATET フォーラムセミナー内容について、映像部会と共同で疎通試験を紹介して、ST2110 を使ったリモート・プロダクションに関する現状と将来に向けた可能性について基調講演とシンポジウムを行う予定。部会セミナーは、舞台連絡設備の指針改訂に向けた内容を途中経過のような形で発表することとして、研究会メンバーに打診予定。

映像部会では、

- ・ 音響部会との共同研究会、ST2110 信号疎通試験は8月31日～9月2日の期間で開催済み。ST2110 伝送において音声や映像の遅延は認められなかった。劇場のメディア拡張では観客に見せるためには大型映像装置は必須であり、プロジェクションを研究していく。
- ・ フォーラムではプロジェクションについてテクニカルセミナーを開催する予定である。

広報部会では、

- ・ JATET 誌 91 号では、部会名称の英文化の経緯を報告した。
- ・ JATET フォーラム 2022/23 にて、セミナーの司会を行う予定。また、アンケートを作成予定。
- ・ JATET の HP について、構成、デザイン、勧誘の手立て、分かりやすい会員への告知・情報提供など課題が多いが次回以降の部会で議論する予定。
- ・ JATET 誌発行に関して、今後は広報部会がイニシアチブをとり、各部会に編集の協力依頼を出していく。「タイムリーな特徴のある施設紹介を取り上げる」ただし時々「定期的に地方の公共ホールを取り上げる特集」はあってもいいと思う。JATET の特質である「演出に関わる特集」をときどき行い、いまは会員がハード中心になってしまったので、これには困難はともなうがこれにチャレンジしなければならない。一方、「部会別の技術特集」は分野別の進化の度合いに応じて、適宜催していくべきと考えている。

#### イ. JATET フォーラム 2022/23 について

令和 4 年 9 月 27 日 (火) 10:30～ 第 2 回 JATET フォーラム実行委員会

令和 4 年 10 月 27 日 (木) 10:30～ 第 3 回 JATET フォーラム実行委員会

令和 4 年 11 月 22 日 (火) 10:30～ 第 4 回 JATET フォーラム実行委員会

日時：2023 年 3 月 17 日 (金) 10:00～18:00 (16 日は仕込み)

会場：千代田区内幸町ホール

内容：2022 年度 JATET 技術系部会の調査研究発表

セミナープログラム

- ・映像部会・音響部会共同研究：『劇場メディアの拡張性』  
～新しい音声、映像伝送技術をどう拡張していくかをテーマとした基調講演・研究報告並びにシンポジウム (予定)
- ・映像部会：劇場導入プロジェクトの要件について (予定)
- ・音響部会：舞台連絡設備の管理と運営について (予定)
- ・機構部会：今年度の活動報告 (予定)
- ・照明部会：舞台照明に関わる電磁ノイズの影響について (予定)
- ・建築部会：地域文化施設の次代のキーワードを探る
- ・販売チケットについては、内幸町ホールの客席は、固定席が 134 席、移動席が 49 席、親子室が 5 席で計 188 席となるが、内、移動席の 4 席は車椅子用とし、親子室は収容人数に含まないこととする場合、179 席となる。若干の予備席を確保し、販売するチケット最大数は先着 170 席分としてはどうかと検討中である。
- ・配信用ビデオ撮影について、リモート配信のための映像撮影をする予定であるが、今年度はリアル参加でのフォーラムとし来年度 4 月以降に配信する予定。
- ・前売り券は会員 3 千円、一般 5 千円、学生千円、当日券は会員 4 千円、一般 6 千円、学生千円、すべて税込みで検討している。

今後のスケジュール (予定)

- ・11 月・・・関係団体 13 団体に共催・協力・後援名義依頼書発送 (11/11 日発送済み)
- ・次回第 5 回フォーラム実行委員会は来年 1 月 17 日 13 時 30 分から開催予定。
- ・1 月中旬頃に入場券受付開始
- ・1 月末から 2 月初め現場下見
- ・2 月末から 3 月上旬に劇場側と技術打合せ
- ・現時点では懇親会の予定はなし。

#### ロ. JATET 誌について

- ・91 号は、10 月末に発行済。
- ・92 号は後ほど審議をお願いします。

#### ハ. JATET ジャーナル 20 号

- ・「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は、未提出の原稿があり 8 月末ホームページ公開予定が大幅にずれている。引き続き、原稿提出依頼を進めていく。

#### 3) 財務報告

内池善蔵副会長 (閲覧資料-財務報告)

- ・毎月、内池副会長、西村副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認を  
しており問題は無い。
  - ・JATET 会費未入金の方 (8 件) へ再請求書を発行、納付期限を 11 月 30 日としている。
- 正会員 A の不二装備工業(株)は、現在会社を解散する手続きに向け動かされており、今年度の会費 50 万円について 4 月～11 月の 8 ヶ月分として欲しいと連絡があった。計算で 50 万円 × 8/12 = 33.333 万円となる。金額は繰り上げて 34 万円の再請求書を送付した。また、途中

退会は前例がないため、覚書を送り、先日押印済みの覚書が返送された。

#### 4) 総務報告

西村岩夫副会長（閲覧資料-事務局関連及び請求書等）

- ・事務局事務所賃貸契約再更新手続きを9月6日に済ませた。
- ・9月30日付で職員の永田が退職した。
- ・10月1日より東京都の最低賃金が引き上げられたことにより、10月からアルバイトの時給を1041円から1072円に引上げて支払い済み。
- ・アルバイトの有給休暇取得について、労基法が改正され、時間単位での取得も可能となるように、就業規則の見直しを行った。後ほど審議をお願いする。

#### 5) 国際協力報告

小川幹雄理事

- ・JATET 元会長であり OISTAT 日本センター会長であった高田一郎先生が9月1日に逝去され、葬儀は身内で執り行われた。JATET も OISTAT も独自に偲ぶ会等を行う予定は無いが日本舞台美術家協会が行うのであれば協力したい。

#### 6) コンプライアンス報告

西豊彦理事

- ・報告事項なし

#### 7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

- 先ほど西村副会長の総務報告にあった、アルバイトの有給休暇取得について、労働基準法が改正されたことに伴い、職員就業規則の見直しを行った。後ほど審議をお願いする。

#### 8) 事務局報告

##### イ. 内閣府情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-内閣府情報

- ・内閣府立入検査が12月14日（水）10時から JATET 事務局で実施される。  
検査の通知書、検査会場に用意する資料などを閲覧する。現在、書類資料の準備中。
- ・内閣府 公益法人メールマガジン 第150号（令和4年8月10日発行）、臨時号（令和4年8月10日発行）、第151号（令和4年8月24日発行）、臨時号（令和4年9月2日発行）、第152号（令和4年9月7日）、第153号（令和4年9月28日発行）、臨時号（令和4年9月30日発行）、臨時号（令和4年10月5日発行）、第154号（令和4年10月12日発行）、臨時号（令和4年10月17日発行）、第155号（令和4年10月26日発行）、臨時号（令和4年10月27日発行）、臨時号（令和4年11月8日発行）を閲覧した。

##### ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事  
閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より、

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更に関連して、事務連絡の周知のお願いが届いている。
- ・2022年9月の「価格交渉促進月間」フォローアップ調査の実施について、物流に関する実態把握調査について、消費税インボイス制度について、冬期の省エネルギーの取り組みについて周知依頼が届いた。
- ・こころの健康相談統一ダイヤルの運用で自殺対策関係の相談窓口、中小企業の経営上の相談窓口のナビダイヤル案内の周知依頼が届いた。
- ・下請取引適正化推進月間の実施について協力要請依頼が届いた。

総務省からの情報は特になし。

## ハ. JATET ニュース発行について

中川堅司専務理事  
閲覧資料なし

9月28日に第231号を発行した。

主な内容は、JATET フォーラム 2022/23 開催予告、JATET-L-22010「演出空間用 LED 照明器具の安全確保のための“表示ガイドライン”」発行、JATET 誌 91 号 10 月末発行予定、新入会員企業のご紹介、横須賀市 横須賀芸術劇場の指定管理者募集について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

## ニ. 会員情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-会員情報

- ・正会員 C 高田一郎氏が 9 月 1 日にご逝去された。
- ・7 月 1 日にご逝去された稲生真さんのお別れの会のご案内が届いた。
- ・賛助会員 B KIM SANGHUN 氏 退会及び HAN JINSIL 氏 入会
- ・正会員 A ヤマハサウンドシステム(株) 飯野 英樹氏 音響部会退部(審議事項)
- ・賛助会員 A (株) エス・シー・アライアンス 移転のお知らせが届いた。
- ・賛助会員 A PRG (株) 会員登録内容変更(住所変更)
- ・正会員 A 三精工事サービス(株) 役員変更のお知らせが届いた。

## ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-諸団体情報

- ・一般社団法人日本舞台美術家協会から、高田一郎氏ご逝去の訃報が届いた。
- ・(株) 剣プロダクションサービス代表取締役会長ケン・ラーマズ氏が 10 月 18 日に急逝し故人の遺志により家族で葬儀が執り行われた。「ケン・ラーマズ リメンバーミーティング」のご案内が届いた。
- ・「日生劇場第 29 回舞台フォーラム 2022」後援名義使用許可について書面が届いた。開催が 11 月 10 日のため、執行理事により賛否を確認し、賛成多数により許可することを決定した。

また第 28 回「ニッセイ・バックステージ賞」受賞者決定のお知らせが届いた。

- ・「世界劇場会議名古屋フォーラム 2022」後援名義使用許可について書面が届いた。

開催が 11 月 28 日のため、執行理事により賛否を確認し、賛成多数により許可することを決定した。

- ・公益社団法人全国公立文化施設協会より「令和 4 年度研究大会報告書」が届いた。
- ・Inter BEE2022 開催案内が届いた。
- ・緊急事態舞台芸術ネットワークより、舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(第六版)が公開され、案内が届いた。

芸団協メールニュース：8/15(470号)、8/23(臨時号)、9/1(471号)、9/9(臨時号)、9/15(472号)、10/3(473号)、10/3(臨時号)、10/5(臨時号)、10/17(474号)、10/20(臨時号)、11/1(475号)、

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：8/15(132号)、9/15(133号)、10/17(134号)

その他、協会誌、雑誌関係の資料について閲覧した。

## ヘ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事  
閲覧資料-書籍販売状況

規格販売状況(別紙資料参照)

- ・2022年4月から現時点までで429,900円の売上である。
- ・吊物機構安全指針・同解説が一般、会員含めて73部、床機構安全指針・同解説が16部売れている。

## ト. 請求書情報

中川堅司専務理事  
閲覧資料-請求書情報

三新都市 RE から事務所の再契約料、トモタケから音響部会・映像部会共同研究 ST2110 の機材運搬費、株式会社テトラロジックスタジオから規格制作編集、印刷費の請求、JATET 誌 91 号制作編集、ST2110 研究会のミキシング費、株式会社ブレイヴから JATET 誌 91 号発送代行、株式会社アティア・オオツカから JATET 誌 91 号印刷費、その他は例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

## チ. HP について

中川堅司専務理事  
閲覧資料-HP アクセス解析

・ JATET ホームページのアクセス解析…8 月～10 月までの HP 閲覧状況を資料に示して閲覧した。

8 月のページビュー数は 2,552、ページ別訪問数は 1,918

9 月のページビュー数は 2,371、ページ別訪問数は 1,791

10 月のページビュー数は 2,316、ページ別訪問数は 1,698

## リ. 事務局関連

中川堅司専務理事  
閲覧資料-事務局関連

- ・ 協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・ 各部会、事務局への問い合わせには適宜回答している。
- ・ ABTT Technical Standards 2020 改訂版について、購入希望が出ているが無料閲覧で 2015 版からの改訂箇所を確認して、購入するか決定予定。
- ・ 令和 5 年度「事業計画書」「事業予算書」提出期限 2 月 3 日（金）を予定している。

報告事項は以上。

## 4. 審議事項

### 第 1 号議案 職員就業規則改訂の件

資料-2

中川専務理事より資料-2 に基づいて、第 1 号議案 職員就業規則改訂の件についての説明があった。

アルバイト有給休暇制度導入に伴い職員就業規則と労働条件通知書を見直した。内容は社労士の菅野様にも確認いただいた。職員就業規則の赤字箇所が見直した箇所。過去の書類を調べたところ、アルバイトと労働条件通知書の取り交わしをしていなかったのが赤字箇所を追記し 12 月 1 日から施行とし、理事会終了後にアルバイトの二方には内容を説明し書面を持って取り交わす予定。

中川専務理事の説明の後、第 1 号議案 職員就業規則改訂の件について審議に入り、ご意見・ご質問を頂いた。

西理事：職員就業規則の第 16 条には(1)本給(2)通勤手当となっているが、第 17 条には(本給)となっており、付け足そうとする通勤交通費も記述されている。第 17 条を(本給及び通勤手当)とし、2 項として通勤手当について記述するなど、整えるべきではないか。通勤交通費は、自宅から事務局以外の出先に出勤する場合もある。外出交通費の扱いが別であれば、この書き方で間違いはない。

労働条件通知書の勤務形態の表記の実態はフレックスタイム制ではないか。フレックスタイム制であるなら、(3)の項に書いた方が良いので確認願いたい。

中川専務理事：17条（本給）は（本給及び通勤手当）とし、通勤手当については17条に2項として追記する。

労働条件通知書の「1始業・就業の時刻等」に記述した10:00～18:00は、事務局勤務職員の勤務時間であり、アルバイトはこの時間の中で希望する時間帯を決めてもらって運用しているので、フレックスタイム制では無い。【以下のような制度が労働者に適用される場合】の(2)～(5)は削除する。その他アルバイト勤務に必要なない箇所も削除して作り直す。

ご意見・ご質問を頂いた後、第1号議案 職員就業規則改定の件について審議に入り、事務局にて修正することを条件に、全員一致にて可決承認された。

## 第2号議案 JATET誌92号の件

資料なし

永井烈副会長より第2号議案 JATET誌92号の件についての説明があった。

当初、JATETフォーラム開催に向け、JATET誌92号はフォーラム特集として記事を書いたらどうかと考えていたが実行委員会の中でフォーラムが終わった後に総括記事や発表できなかった内容などを出したらいいのではないかとのことのご意見があった。

また、フォーラムが終了後の年度末に発行するのはどうかとのことのご意見もあったが決算の関係上厳しいと思われる。フォーラム特集は次年度の夏号として92号は、部会持ち回りで発行となると音響部会が編集担当になるが、通常半年前からテーマを決めて執筆依頼をし、発行に至るため、今からテーマを決めて動くには時間がなく、フォーラムの準備もあるため部会での記事掲載は厳しくなる。広報部会からは、来年の春ごろに大型の音楽ホールができるようなので各部会を跨いで記事にできるかもしれないとの提案がある。総合すると、年2回を発行予定していたがJATET誌は年度内にもう1号の発行は見送り、次年度夏頃の発行に向け来年2月の理事会では、92号、93号のテーマを審議いただき進めていきたいと思う。

永井烈副会長の説明の後、第2号議案 JATET誌92号の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

## 第3号議案 令和5年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件

資料なし

中川専務理事より第3号議案 令和5年度総会開催及び総会の方法、総会日時場所の決定の件についての説明があった。

定款第16条の定めにより、「通常社員総会は、毎年1回毎事業年度終了後3箇月以内に開催する。」とあり、また、定款第16条と同内容が、社員総会運営規則第3条（開催）に定められている。

先ず、第3号議案の前半、令和5年度総会の開催について審議するため、中川専務理事より説明があった。

内閣府からは、総会の「開催」そのものを決議したという記述で報告すること、総会を招集することを決議した後に、総会の日時及び場所、社員総会の目的である事項、その他の法で定められた事項を定めなければならないと指導がある。

中川専務理事の説明の後、第3号議案の前半、令和5年度総会開催について審議に入り、全員一致で可決承認された。

次に、第3号議案の後半、令和5年度総会の方法並びに日時場所の決定について審議するため、中川専務理事より説明があった。

今年5月の総会は、新型コロナウイルス感染拡大が終息しない状況と2年に一度の役員選出選挙があり、エッサム神田にて限られた執行理事及び部会長の出席による書面総会として実施した。現時点では、来年5月末頃の総会開催時期の状況は全く予測できない状態だが、近隣会議室、JATET会議室等の会場を利用して、正会員が集まる形式で総会を実施するか審議願いたい。まだ大人数で集まるにはリスクがあるため事務局としては、来年度も書

面総会の形での総会開催とする方法を考えている。直接出席できる執行理事は総会会場に集まり、直接出席できない執行理事はWEBで参加、執行理事以外の正会員は「欠席」で出欠届を提出し、議決権行使書で議決に加わって総会開催するのか、日時場所について5月の第4週の日時で開催場所はどこを使用するのかどうか審議願いたい。

中川専務理事の説明の後、令和5年度総会開催の方法について審議に入り、本年と同様、書面総会による開催として、執行理事で直接出席できる執行理事は総会会場に集まり、直接出席できない執行理事はWEB会議で参加、執行理事以外の会員も出席可とし、欠席する場合は議決権行使書で議決に加わって総会開催とすることに、全員一致で可決承認された。

続いて令和5年度総会開催日時場所について審議に入り、日時は5月22(月)から26(金)までの間で、13時00分から、場所はエッサム神田ホールとすることに、全員一致で可決承認された。

#### **第4号議案 正会員A 不二装備工業(株) 退会の件** 資料-3

中川専務理事より資料-3に基づいて、第4号議案 正会員A 不二装備工業(株) 退会の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第4号議案 正会員A 不二装備工業(株) 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### **第5号議案 正会員C 高田 一郎 氏 退会の件** 資料-4

中川専務理事より資料-4に基づいて、第5号議案 正会員C 高田 一郎 氏 退会の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第5号議案 正会員C 高田 一郎 氏 退会の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

#### **第6号議案 正会員A ヤマハサウンドシステム(株)飯野 英樹氏 音響部会 退部の件**

資料-5

中川専務理事より資料-5に基づいて、第6号議案 正会員A ヤマハサウンドシステム(株)飯野 英樹氏 音響部会 退部の件についての説明があった。

中川専務理事の説明の後、第6号議案 正会員A ヤマハサウンドシステム(株)飯野 英樹氏 音響部会 退部の件について審議に入り、ご意見・ご質問を頂いた。

西村副会長：本件に関しては部会の退部であり、法人会員である会社を退職したのであれば、その時点で資格を失うので、報告事項で良いのではないかと。

ご意見・ご質問を頂いた後、第6号議案 正会員A ヤマハサウンドシステム(株)飯野 英樹氏 音響部会 退部の件は報告事項とすることに、全員一致で承認した。

(ここで伊東会長は退場され、これ以降、永井副会長が議長を務めた。)

#### **第7号議案 JATET 誌のホームページへの公開とPDFダウンロードの問題について**

資料なし

中川専務理事より第7号議案 JATET 誌のホームページへの公開とPDFダウンロードの問題についての説明があった。

第61回定例理事会にて、JATET 誌のホームページ公開について会員も非会員も関係なくダウンロードが可能なのも問題なのではないか等との指摘をうけ、著作権で、誰でも閲覧が可能が問題となるなら、すぐに閲覧できないように対処し、会員と非会員でダウンロード

の有料・無料の仕分けの区切りが出来た段階で閲覧を再開するという事で承認された。現在、JATET 誌の閲覧ページは閲覧できないようになっている。

JATET 誌のホームページ公開について、会員向けにはパスワードを設定して知らせ、パスワード入力後にダウンロードできるようにすることを考えている。(個別パスワードを発行するか? 共通パスワードで済ませるか?) 非会員の購入者に対しても、会員と同様に考えたいが、購入方法と金額をいくりに設定するのか検討が必要。今後、規格の購入フォームを参考に、JATET 誌の購入フォームを検討したい。金額は、1冊 1,000円程度でと考えるが意見を伺いたい。

テトラロジックスタジオの竹本氏にも検討をしてもらっているが、セキュリティレベルをどの辺に設定するのが検討課題のよう。会員及び外部の購入者に共通パスワードを知らせてダウンロードしてもらい形式であれば、現状のサイトで対応することが可能だが、それ以外の方法の場合には何らかの外部サービスを利用した方が良いでしょう。

中川専務理事の説明の後、第7号議案 JATET 誌のホームページへの公開と PDF ダウンロードの問題について審議に入り、ご意見・ご質問を頂いた。

永井副会長：個人的には、まだ審議に至る前段階のような気がする。何処が検討すべきかの判断は難しいが、パスワードの設定、金額、申込方法などを具体的に計画された上で審議、可決するのが良いと思う。

西理事：方向としては、この方法で良いと考えている。金額は少し高いと思う。また、共通パスワードでは、流出してしまうリスクがあるので、個別にパスワードを与える方法になると思う。今後の検討の範疇になると考える。

永井副会長：ある程度期限を定めて、いつまでに方向性を見出していくのかを決めていかないと難しい。今後、公開方法やパスワードなどを更に練った上で審議することとし、今日の段階では、審議事項ではなく報告事項で良いのではないかと?

青野理事：閲覧は出来るがダウンロードは出来ないホームページもある。まず、閲覧してもらい、ダウンロードしたい方には別途申し込んでいただく形も考えられる。

永井副会長：次回、2月の理事会で審議して、4月1日からの運用は可能か?

中川専務理事：可能かどうかは、実作業いただくテトラロジックスタジオと確認が必要。次回の理事会では審議事項としてお察いただくよう検討を進める。

西村副会長：パスワードを共通にしないとしたら、メディアに対してのパスワードではなく、ユーザー登録に対してのパスワードになると思う。

西理事：日本照明家協会では、非会員でダウンロードを希望する方がいたら、申込用紙に書いてもらって、メールアドレスに一時的なパスワードを発行しているようである。

ご意見・ご質問を頂いた後、第7号議案 JATET 誌のホームページへの公開と PDF ダウンロードの問題について審議に入り、本理事会では報告事項とすることに、全員一致で承認した。

## 第8号議案 世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児 後援名義使用許可の件

資料-6

中川専務理事より資料-6に基づいて、第8号議案 世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児 後援名義使用許可の件についての説明があった。

世界劇場会議名古屋から、来年1月に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児」の後援名義使用許可について申請が届いている。

中川専務理事の説明の後、第8号議案 世界劇場会議国際フォーラム Final in 可児 後援名義使用許可の件について審議に入り、全員一致で可決承認された。

## その他

### 1) 第 63 回定例理事会（2 月）開催日程について

第 63 回定例理事会は、令和 5 年 2 月 24 日（金）14 時から開催予定

### 2) 閉会

15 時 38 分 永井烈副会長が閉会を宣言して終了した。

令和4年11月25日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第62回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 伊東正示)	伊東正示	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	欠席	印
議事録作成署名人 (森 健輔)	森 健輔	

第 63 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 5 年 2 月 28 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

## 第 63 回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和 5 年 2 月 28 日 (金) 14:00~17:00

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：伊東正示会長、  
永井烈副会長（事業担当）、  
西村岩夫副会長（総務担当）、  
中川堅司専務理事（事務局統括、国内渉外担当）  
青野時彦理事、宮丸正人理事、森健輔理事

WEB出席理事：内池善蔵副会長（財務担当）、  
小川幹雄理事（国際渉外担当）、  
西豊彦理事（コンプライアンス担当）、  
西奈美博理事、長谷川祥久理事

欠席理事：なし

出席監事：間瀬勝一

WEB出席監事：尾澤輝行

有効理事総数 12 名、出席理事 12 名、欠席理事 0 名  
出席率 100% 監事 2 名、事務局 (1 名)、計 12 名

議事録署名人 (書記) 西村 岩夫

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12 名中 12 名の出席、監事 2 名、事務局 (1 名) にて本理事  
会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

### 3. 報告事項

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1) 業務報告       | 伊東正示会長   |
| 2) 事業報告       | 永井烈副会長   |
| 3) 財務報告       | 内池善蔵副会長  |
| 4) 総務報告       | 西村岩夫副会長  |
| 5) 国際協力報告     | 小川幹雄理事   |
| 6) コンプライアンス報告 | 西豊彦理事    |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 |
| 8) 事務局報告      | 中川堅司専務理事 |
| 9) その他        |          |

#### 4. 審議事項

第 1 号議案	令和 5 年度事業計画の件	資料-1
第 2 号議案	令和 5 年度事業予算の件	資料-2
第 3 号議案	総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件	資料なし
第 4 号議案	令和 5 年度資金運用計画について	資料-3
第 5 号議案	インボイス制度について	資料-4
第 6 号議案	令和 5 年度事業 JATET フォーラム、技術展開催について	資料-5
第 7 号議案	JATET 誌 92 号、93 号の件	資料なし
第 8 号議案	JATET フォーラム 2022/23 配信の件	資料なし
第 9 号議案	賛助会員 B 児玉 道久 氏 退会の件	資料-6
第 10 号議案	正会員 A ヤマハサウンドシステム(株) 岩上 知広 氏 音響部会 入部の件	資料-7
第 11 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ (株) 薮内 信彦 氏 機構部会 退部の件	資料-8
第 12 号議案	賛助会員 A (株)三和製作 春田 育扶 氏 機構部会 退部の件	資料-9
第 13 号議案	ITEAC の件	資料-10
第 14 号議案	高田一郎さんを偲ぶ会の件	資料-11
第 15 号議案	JATET WEBSITE の件	資料-12

#### 5. その他

- 1) 第 64 回定例理事会開催日程 (4 月) について
- 2) 閉会

### 1. 議長選出

定款第 42 条の規定により伊東正示会長を議長に選出した。

### 2. 議事録作成署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人を選出するにあたり、出席理事の中から議長が西村岩夫氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

### 3. 報告事項

#### 1) 業務報告

伊東正示会長

下記の通り、第 62 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 4 年 12 月 16 日（金）	13:00～	第 79 回事業執行連絡委員会
令和 5 年 1 月 20 日（金）	14:00～	第 80 回事業執行連絡委員会
令和 5 年 2 月 17 日（金）	14:00～	第 81 回事業執行連絡委員会

#### 2) 事業報告

永井烈副会長（各部会資料）

各部会の活動報告について、閲覧-事業報告、各部会資料を参照。

教育研修部会では施設見学会を 3 月 20 日に高崎芸術劇場大劇場にて約 3 年振りの開催を予定している。コロナ禍後、久しぶりの見学会開催となるため人数を制限させていただく関係で、今回は JATET 会員限定となる。

NHK ホールは進展なし。山形県総合文化芸術館は支配人と打合せを実施し 5 月 23 日、6 月 20 日の 2 案で打合せを進めていく。

JATET ジャーナル「那覇市文化芸術劇場なは一と」は、原稿未提出の方に声をかけている。

建築部会では次年度の部会活動としてホールのガイドラインを作成する。

消防庁の規定が来年度改訂されるので、JATET・現場サイドからの意見を反映させるように働きかける。建築基準法と消防法で重複すること、食い違っていることがあるので提言していきたい。

広報部会と連携して、JATET 誌に毎号施設紹介の記事を掲載することに協力する。年に 1 度程度、公共施設特集に取り組む。

機構部会では未来の駆動部、バトンの比較研究、点吊りの調査、制御盤・操作盤周囲環境に対する指針の改訂、バトンの積載量表示指針の改訂の議論をした。制御盤・操作盤周囲環境に対する指針、バトンの積載量表示指針の改訂作業を行っている。

照明部会では EMC 研究会を立ち上げキックオフ会議を 12 月 5 日に開催した。EMC 研究会はフォーラムに向けたネタ集めの結果報告と活動内容の実験案について議論をした。

今後は L7190 規格の更新を本格的に進める。

音響部会では電源コネクタの選定について今後ホームページなどを使って発信していく予定。

舞台連絡設備については、ほぼ改訂提案がまとまったので、来期に指針を発行する予定で作業を進めている。

映像部会ではコンテンツ上映研究会では、BALCO 製プロジェクターの遅延時間を確認した。結果 1 フレーム遅延時間は、プログレッシブ 60P の場合は 1/60 秒、インターレス 60i の場合は 1 フレームには 2 フィールド（インターレス）が必要となり 1/30 秒となる。

演出映像研究会では、テーマの範囲を再検討中である。

広報部会では JATET 誌ダウンロード問題について、日本照明家協会 JALED を参考に検討した。

JATET の活動に関するルーティンな情報提供は、WEB サイトがメインとなるので WEB サイトの更新を検討している。

会員への特典として、会員 ID と PW で管理し、情報を限定して提供し企業会員への特典としてアクセス可能な ID 数を会員ランクに応じて提供する。会員体系を見直し準会員を設け、会費は安くするが、部会などの活動は可能とする。また、情報提供は会員種別で差を設けるなどの意見が出ている。

JATET WEB サイト更新提案について、後ほど審議とする。

#### イ. JATET フォーラム 2022/23 について

令和 5 年 1 月 17 日 (火) 13:30～ 第 5 回 JATET フォーラム実行委員会

令和 5 年 2 月 22 日 (水) 13:30～ 第 6 回 JATET フォーラム実行委員会

JATET フォーラムの実施日、内容等に関しては下記のとおり

日時：2023 年 3 月 17 日 (金) 10:00～16:30 (16 日は仕込み)

会場：千代田区内幸町ホール

内容：2022 年度 JATET 技術系部会の調査研究発表

#### セミナープログラム

シンポジウム『劇場メディアの拡張性』

テーマ～新しい音声、映像伝送技術でどう拡張していくか。

- ・映像部会：劇場導入プロジェクションの要件について
- ・音響部会：舞台連絡設備の管理と運営について
- ・機構部会：バトン形状の調査・研究について
- ・照明部会：舞台照明に関わる電磁ノイズの影響について
- ・建築部会：地域文化施設の次代のキーワードを探る

参加費は、前売り券は会員 3,000 円、一般 5,000 円、学生 1,000 円。

当日券は会員 4,000 円、一般 6,000 円、学生 1,000 円。

次年度 4 月以降の WEB 配信について、後ほど審議とする。

フォーラム事前準備として 2 月 14 日に劇場側と技術打合せを完了し、残すところ 3 月 16 日 (木) リハーサルのみとなっている。また、フォーラム本番後の懇親会については行わない。

#### ロ. JATET 誌について

JATET 誌 92・93 号については、後ほど審議とする。

#### ハ. JATET ジャーナル 20 号について

「那覇文化芸術劇場なは一と」を特集としたジャーナル 20 号は、未提出の原稿があり 8 月末ホームページ公開予定が大幅にずれている。引き続き、原稿提出依頼を進めていく。

### 3) 財務報告

内池善蔵副会長 (財務担当)

毎月、内池副会長、西村副会長の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認を

しており、特に問題はない。令和 4 年度の会費について、未納者には再々請求書を送付し、2月28日を納入期限としている。現時点で、正会員 C:2名、賛助会員 A:1社、賛助会員 B:2名の方が未納となっている。

令和 5 年度の資金運用方針については、後程の審議とする。

4) 総務報告 西村岩夫副会長（総務担当）

毎月、出勤簿等の確認をしており特に問題はない。  
事務局関連及び請求書等の資料を閲覧した。

5) 国際協力報告 小川幹雄理事（国際渉外担当）

令和 4 年 12 月 15 日に韓国 KTL の仲介で、ソウル梨泰院雑踏事故の件でヒアリングをしたという事で、韓国政府国民権益委員会の課長以下 4 名と通訳 1 名が JATET 事務局に来訪。JATET 側は伊東会長、永井副会長、中川専務理事、小川理事で対応した。公文協の安全に関する資料ガイドライン、シアターワークショップで使用している資料等を進呈し、議事の進行に使用した。議題は、群集マネジメントについての意見交換を行った。明石市の歩道橋で発生した事故にも関心があり、明石市にも訪問し、協議したとのこと。来訪された方は韓国政府の方であり、規制を強化することに視点がある印象を受けたので、上から押さえつけるのではなく、関係者がワーキンググループを作って議論をすべきだと説明した。

年が明けて令和 5 年になり KTL から新年のあいさつを頂いた。

OISTAT 本部から年賀状を頂いた。また、別便で OISTAT の 2023 年度の会費請求書が届いたので、会費 (€500) の送金を済ませた。

6) コンプライアンス報告 西豊彦理事（コンプライアンス担当）

期間中にコンプライアンス上問題となる事項はない。

7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事

前回第 62 回定例理事会で、職員就業規則改訂について審議をいただいた。給与の種類が第 16 条で(1)本給、(2)通勤手当となっており、第 17 条を（本給及び通勤手当）として、2 項に通勤手当について記述することを条件に可決承認された。また、労働条件通知書については、始業・終業の項を整理して、その他アルバイトに必要なない箇所を削除して運用を開始したので報告する。

8) 事務局報告 中川堅司専務理事

イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報

内閣府立入検査が 12 月 14 日（水）に実施され、前回指摘事項の尾澤会計事務所への業務委託に係る契約書を見せ是正状況を確認された。

今回の指摘事項は特段大きな問題はないが、役員就任の際に適格事項に係る確認書がない事が指摘された。

内閣府では、役員に就任の際に 3 点セットと呼んでいる就任承諾書、履歴書、確認書を提出し、変更届を受理している。変更届出の際に添付する確認書の中で、法人の代表者が選任された役員について、認定法に規定する公益認定の基準に適合していることと、欠格事由に該当しないことを確認することになっており、選任された役員ごとに提出された確認書を確認している。この中では理事就任時の反社会的勢力と接点がない事を示す確認書が必要になる。

次回令和 6 年度の役員選出の際は、確認書の提出を願うことを徹底する。

収益事業を公益事業に取り込む件について、収益事業の広告掲載費用を引き連れて、公益

事業にしていくのは難しい。法人税法上の収益事業となっているため、広告収益を無くして公益事業に移行するのであれば考えられる。税務上の話は尾澤会計事務所と確認して、法令も勉強しながら検討する。

内閣府 公益法人メールマガジン 臨時号 (11/11)、第 156 号 (11/16)、臨時号 (11/18)、第 157 号 (11/30)、臨時号 (12/5)、臨時号 (12/9)、第 158 号 (12/14)、臨時号 (12/19)、臨時号 (12/27)、第 159 号 (12/28)、第 160 号 (1/18)、第 161 号 (2/1)、第 162 号 (2/15) を閲覧した。

- ロ. 経済産業省情報&総務省等 閲覧資料-経済産業省&総務省等  
経済産業省コンテンツ産業課より
- ・物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策についての周知依頼が届いている。
  - ・マイナンバーカードの取得と健康保険証利用申込、公金受取口座登録の促進についての周知依頼が届いている。
  - ・価格交渉月間フォローアップ調査の協力依頼が届いている。
  - ・自動車運転者の労働時間等の改善基準告示改正についてお願いが届いている。
  - ・消費税インボイス制度について周知依頼が届いている。

総務省からは特に情報なし。

#### ハ. JATET ニュース発行について

12月20日に第232号を発行した。

主な内容は、JATET フォーラム 2022/23 開催予告、JATET-L-22010「演出空間用 LED 照明器具の安全確保のための表示ガイドライン」発行、JATET 誌 91 号 10 月末発行予定、新入会員企業のご紹介、横須賀市 横須賀芸術劇場の指定管理者募集について、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

1月23日に第233号を発行した。

主な内容は、JATET フォーラム 2022/23 参加申込受付中、高崎芸術劇場 施設見学会、会員情報の変更等について、新規入会募集のご案内、新規部会委員募集のご案内について掲載した。

#### ニ. 会員情報 閲覧資料-会員情報

- ・正会員 A ヤマハサウンドシステム (株) 岩上知宏氏 音響部会 入部 (審議事項)
- ・正会員 A 三精テクノロジーズ (株) 藪内信彦氏 機構部会 退部 (審議事項)
- ・賛助会員 A (株) 三和製作 春田育扶氏 機構部会 退部 (審議事項)
  
- ・賛助会員 A (株) 小林舞台システム 四戸克則氏が 2 月 6 日にご逝去された。
- ・賛助会員 B 児玉道久氏 ((株) 若尾総合舞台 相談役 (前代表取締役社長) が 12 月 31 日にご逝去された。
  
- ・不二装備工業 (株) 解散について、書面が届いた。

#### ホ. 諸団体情報 閲覧資料-諸団体情報

- ・兵庫県立芸術文化センター「第 17 回 舞台技術セミナー」の開催案内が届いた。
- ・文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会 主催「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会」、「全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会」の開催案内が届いた。
- ・OISTAT 日本センターより 2022 年度総会報告書が届いた。

- ・世界劇場会議名古屋フォーラム 2022 後援名義使用事業実施報告書が届いた。
- ・芸団協メールニュース：476 号 (11/15)、477 号 (12/1)、臨時号 (12/9)、臨時号 (12/12)、478 号 (12/15)、臨時号 (12/23)、479 号 (1/5)、480 号 (1/16)、481 号 (2/1)、臨時号 (2/6)、臨時号 (2/7)、482 号 (2/15)
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：臨時号 (11/10)、135 号 (11/15)、臨時号 (12/12)、136 号 (12/15)、137 号 (1/17)、臨時号 (1/31)、138 号 (2/15)

その他、協会誌、雑誌関係の資料を閲覧した。

へ. 書籍販売状況 閲覧資料-書籍販売状況  
 2022 年 4 月から現時点までで 481,000 円の売上で、販売状況は「吊物機構安全指針・同解説」と「床機構安全指針・同解説」及び「プロオーディオ音響技術 CD」を一般、会員合わせて多く販売している。

ト. 請求書情報 閲覧資料-請求書情報  
 OISTAT 日本センターより年会費、次年度の通常総会の会議室使用料及び、テトラロジックスタジオよりニュース配信、Web サイト更新の請求が届いた。その他として例月通り、古川商事の家賃・光熱費、Web 使用料、事務用品、電話、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所の請求書関連を閲覧した。

チ. HP について 閲覧資料-ホームページアクセス解析  
 JATET ホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。ページビュー数は 11 月が 2,103 件、12 月が 2,174 件、1 月が 2,409 件となっている。

リ. 事務局関連 閲覧資料-事務局関連  
 ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。  
 ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。  
 ・令和 5 年度通常総会 2023 年 5 月 25 日 (木) 14:00 開始、エッサム神田の会議室にて開催予定。  
 ・令和 4 年度事業報告・事業決算の提出は 3 月 24 日までとなる。

#### 4. 審議事項

第 1 号議案 令和 5 年度事業計画の件 資料-1  
 中川専務理事より第 1 号議案 令和 5 年度事業計画について説明があった。

令和 5 年度の事業活動は、令和 4 年 6 月 1 日に改正した定款に基づき、令和 4 年度に新たに選任した役員による組織体制にて、事業活動を定着させ推進する年度となる。令和 5 年度は、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた本会の運営を立て直すとともに、急激な国際社会の変動を確実に捉え、新しい潮流を敏速に取得し本会の公益事業に反映する。併せて、不特定多数の国民のために、定款第 4 条に掲げる公益社団法人としての事業活動を余すところなく実行する。本会の会員が、JATET の存在意義と会員である事を実感し、誇負できる公益活動を活発に行うとともに、本会の活動を積極的に全国に向けて訴求する体制を強化する。

以降の説明についての詳細は資料-1 のとおり。

議案説明の後、審議に入り第 1 号議案 令和 5 年度事業計画の件は、全員一致で可決承

認された。

3月末日までに内閣府に、令和5年度の事業計画として申請する。

## 第2号議案 令和5年度事業予算の件

資料-2

中川専務理事より第2号議案について説明。

総会議案書に入れる第2号報告として、令和5年度収支予算書の案を示す。

令和5年度は、受取入金として、正会員Aが1社、正会員Bが1社、正会員Cが1名、賛助会員Aが2社、賛助会員Bが2名の入会を想定している。会費は今年度の正会員Aの退会もあり、正会員Aが18社、正会員Bが6社、正会員Cが26名、賛助会員Aが26社、Bが33名、賛助会員特別が9団体となる予定で、新規入会想定分を合せて、合計15,565,000円となり、入金との合計は16,415,000円となる。

事業収益は、フォーラムの開催収益として、今年度を実施するフォーラムを収録したコンテンツ配信のチケット収入で30万円(1,000円/1コンテンツ×300枚)を計上。

また、令和5年度は技術展を開催する計画を考慮しており、技術展セミナー開催収益として30万円、展示会開催収益として350万円を計上。技術展については後ほど審議事項となるが、Inter BEEの会場を借りての開催を検討している。

発刊物の販売収益は500,000円、施設見学会は、教育研修部会の計画で延期になっていた山形県総合文化芸術館を含めて3施設を考慮しており、750,000円の収益を予定している。JATET誌の広告収益は、年間2号の発行で各20社からの広告掲載を想定して、1号あたり4,000,000円で合計8,000,000円としている。事業の収益としては13,350,000円となり、入金・会費収入を加えた経常収益の合計は29,765,000円となる。

資料2-2に事業費の内訳を示す。給料手当は今年度と同様としている。部会費は、各部会からの予算金額をそのまま入れてあり、合計金額は1,875,000円となる。JATETフォーラム開催費は、今年度のフォーラムコンテンツをWeb配信するための編集費その他の経費で400,000円を予算として見ている。

JATET技術展セミナー開催費は500,000円、技術展事業費は3,500,000円を計上している。

JATETジャーナルは、見学会の開催以外の施設も紹介する方針の基で1号は昨年度見学会施設分、来年度3号分の発行を目指して600,000円を計上した。

ホームページ運用費、JATET NEWS発行費は例年通り。

海外交流費は、OISTAT会費、その他で200,000円、国内交流費は、全国公立文化施設協会、基準協その他で100,000円とした。施設見学会費用は、教育研修部会の予算に合せて720,000円とした。

JATET誌発行費は2,500,000円×2回で5,000,000円を計上。

福利厚生費その他の項目は例年並みとした。

資料2-3に管理費の内訳を示すが、ほぼ固定費的に出ていく内容で、今年度とほぼ同様の金額を計上している。

資料2-1に戻って、事業費の合計が25,555,000円、管理費が7,372,000円となり、経常費用の合計は32,927,000円となる。経常増減額はマイナス3,200,000円ほどとなり、今後の会員の増強を図っていかないと厳しい状況にある。

議案説明の後、下記の質疑があった。

永井副会長より、事務局職員の給与手当について今年度と同額となっているが、昨今、光熱費の値上げや食料品等々の値上げがある中、賃上げゼロは厳しいので見直した方が良いと思われる。

アルバイトについては、東京都の最低賃金に連動して上がるが、職員については賃上げしていないのがここ数年の現状である。

物価上昇分の給与手当アップについては、別途、事業執行連絡委員会の場で協議するこ

ととする。

伊東会長より、収支予算では会員数を増やす目論見で予算化されているので、これをどのように実現するかが大きな課題だと思っている。これは誰かが責任をとるという事ではなく、ここにおられる理事の皆様のご協力をお願いしたい。

質疑の後、審議に入り第2号議案 令和5年度事業予算の件は、職員の給与手当アップすることを当議案に含め全員一致で可決承認された。具体的な給与手当の額については、別途、事業執行連絡員会の場で協議することとする。

#### 第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 (資料なし)

中川専務理事より第3号議案について説明。

定款では、(書面表決等)「第21条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。3 第1項の場合における前2項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない」とあるので、本理事会で審議に諮る。

議案説明の後、審議に入り第3号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件は、全員一致で可決承認された。

#### 第4号議案 令和5年度資金運用計画について 資料-3

財務担当の内池副会長より第4号議案について説明。

令和5年度の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和5年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行の3銀行の普通預金、定期預金での運用を原則とする。2023年1月31日現在の現預金残高は方針書に示した通り。残高合計は、8,445,541円となっている。

議案説明の後、審議に入り第4号議案 令和5年度資金運用計画について、全員一致で可決承認された。

次に今年度の特定費用準備資金の積立について中川専務理事より下記のとおり報告があった。

今年度の特定費用準備金の積立について提案する。事務局及び尾澤会計事務所にて今年度の決算見込みを確認した。2月15日時点の試算では公益事業比率50%以上を確保するに至り、今年度は特定費用準備金の積立は行わないこととする。

#### 第5号議案 インボイス制度について 資料-4

中川専務理事より第5号議案について説明。

今年の10月1日から、消費税の適格証明書保存方式として、インボイス制度が施行される。この制度により、税務署で登録を受けた課税事業者が発行する「適格証明書(インボイス)」などの保存が仕入税額控除の要件となる。

尾澤会計事務所のご担当に事務局に訪問いただき説明を受けた。

資料(インボイス制度への対応について)を説明する。

前々事業年度の売上高が1,000万円以下の場合には免税事業者となる。JATETは令和元年

度の売上高が 1,000 万円を超えていたので、令和 3 年度は消費税を支払ったが、令和 4 年度は令和 2 年度の売上高が 449 万円です。インボイス発行事業者になるためには、原則として登録申請が必要となるが、一旦登録すると、基準期間の売上高が 1,000 万円以下になっても免税事業者にはならず、消費税の申告と納税が必要になる。免税事業者として登録申請をしない場合、取引先は免税事業者からの課税仕入を仕入税額控除できない。

課税事業者として登録申請をしない場合、取引先は適格証明書のない課税仕入を仕入税額控除できない。

どちらの場合も基準期間の課税売上高が 1,000 万円以下であれば免税事業者となる。以上の検討により、JATET としては適格証明書発行事業者の登録申請はしないこととしたいと考える。この場合、JATET の取引先は仕入税額控除ができないことになるが宜しいか。

議案説明の後、審議に入り第 5 号議案 インボイス制度について、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 令和 5 年度事業 JATET フォーラム、技術展開催について 資料-5  
中川専務理事より第 6 号議案について説明。

資料（2023 年度 JATET 技術展開催検討）を説明する。

令和 3 年 11 月 24 日開催の第 57 回定例理事会で技術展開催について、意見交換と審議を行った。令和 4 年度以降、コロナ禍の状況も見て、各協会とのタイアップや開催年の間隔を含めて柔軟に検討を進めていくことで承認された。

次年度の令和 5 年度は、前回 2019 年度の開催から 4 年後となるので、Inter BEE の会場を利用して、JATET 技術展を開催することについて、Inter BEE を開催している一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会に相談を持ちかけたところ、是非とも前向きに検討をお願いしたいということで、今後の進め方について審議に諮る。

議案説明の後、下記の質疑があった。

技術展の予算について次年度予算で予算化されているか。（西村副会長）

技術展費用として 350 万円で予算計上している。1 ブースあたり 30 万円として 10 社で 300 万円、その他経費で 50 万円となっている。（中川専務理事）

上記予算はブースのコマ代だけで、ブース設営費用や電気代などが含まれていないので、実施することを考えると収支が合わないと思われる。また、第 2 号議案の技術展セミナー開催収益で 30 万円見ているが、Inter BEE の会場はオープンブースなので有料セミナーを開催するには無理がある。（西村副会長）

Inter BEE を会場として JATET 技術展を開催するありきではなく、参加協力いただく会員企業が何社あって、開催場所候補ごとのケーススタディを行い開催時期、内容及び場所を決めることが必要ではないか。（永井副会長）

第 6 号議案は技術展開催の是非を諮るのではなく、開催場所を含め内容について検討することについて審議に諮る。そして、より具体化したところで Inter BEE で開催するか単独で開催するか、または、翌年度に引継いでいくかを定める。（伊東会長）

技術展とは別に JATET として Inter BEE にブースを出展するのは広報活動として意味があると思われるので別途検討してはいかがか。（西村副会長）

質疑の後、審議に入り第 6 号議案 令和 5 年度事業 JATET フォーラム、技術展開催については、技術展開催に向けての検討を進めるという内容で審議し、全員一致で可決承認された。

第7号議案 JATET誌92号、93号の件について

資料なし

中川専務理事より第7号議案について説明。

前回第62回の定例理事会にて、JATET誌92号は、3月17日のフォーラムが終わった後、フォーラムの総括特集として来年度の夏に発行することが承認されている。また、広報部会より92号以降の方針についての提案があり、93号は大型音楽施設特集とする案が出されている。92号以降の毎号に施設紹介を掲載することなどの提案もあり、より良い誌面を目指すことが提唱されている。

従来、JATET誌の編集について、部会持ち回りで進めてきたが、今後は広報部会が主体となって編集を担当していくように進めたいかがか？という件について皆様の意見を伺いたい。

92号はJATETフォーラム2022/23の総括、93号は大型音楽施設特集とすることを含めて審議頂きたい。

議案説明の後、下記の質疑があった。

大きなポイントは編集を部会持ち回りではなく、広報部会が主体となって編集を担当する。また、予算が許すのであれば編集の専門家に入って頂きたいという意見が過去の事業執行連絡委員会であった。(伊東会長)

質疑の後、審議に入り第7号議案 JATET誌92号、93号の件について、全員一致で可決承認された。

第8号議案 JATETフォーラム2022/23配信の件について

資料なし

中川専務理事より第8号議案について説明。

先ほど、令和5年度予算の件でも触れたが、3月17日に開催するフォーラムの部会セミナーを収録編集したコンテンツを有料でWeb配信することを計画している。午後の部の5部会が対象となるが、本番終了後の編集期間に1ヶ月程度必要になるので、コンテンツ完成が4月20日頃、各部会の確認、チェックを受けて、5月連休明けから2~3ヶ月を配信期間として考えたい。配信のプラットフォームはVimeoを使い、チケットはイープラスで販売する予定。価格は1,000円/1コンテンツで、各部会60名程度の受講を想定して30万円ほどの売上を目指している。

議案説明の後、審議に入り第8号議案 JATETフォーラム2022/23配信の件について、全員一致で可決承認された。

第9号議案 賛助会員B 児玉 道久 氏 退会の件について

資料-6

中川専務理事より第9号議案について説明。

(株)若尾総合舞台様より児玉 道久様が逝去されたとの連絡がお電話、書面によって届いた。

児玉様は個人会員として賛助会員Bに入会されており、当協会には長年ご在籍していただいた。

通常は、法人会員の方が逝去された場合、法人の方に死亡届を提出していただいているが、児玉様は個人会員なので、書面を持って退会として手続きしてよろしいか。

議案説明の後、審議に入り第9号議案 賛助会員B 児玉 道久 氏 退会の件について、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 正会員 A ヤマハサウンドシステム(株) 岩上 知広氏 音響部会入部の件 資料-7

中川専務理事より第 10 号議案について説明。

正会員 A 岩上 知広氏より、12 月 6 日付で音響部会入部届が届いている。

議案説明の後、審議に入り

第 10 号議案 正会員 A ヤマハサウンドシステム(株) 岩上 知広氏 音響部会入部の件、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ (株) 藪内 信彦氏 機構部会 退部の件 資料-8

中川専務理事より第 11 号議案について説明。

正会員 A 藪内 信彦氏より、2 月 2 日付で機構部会退部届が届いている。

議案説明の後、審議に入り

第 11 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ (株) 藪内 信彦氏 機構部会 退部の件、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 賛助会員 A (株)三和製作 春田 育扶氏 機構部会 退部の件 資料-9

中川専務理事より第 12 号議案について説明。

賛助会員 A 春田 育扶氏、12 月 2 日付で機構部会退部届が届いている。

議案説明の後、審議に入り

第 12 号議案 賛助会員 A (株)三和製作 春田 育扶氏 機構部会 退部の件、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 ITEAC の件について 資料-10

中川専務理事より第 13 号議案について説明。

ITEAC2023 に関する協力の検討依頼が建築部会から出ている。窓口は長谷川理事になっており、建築部会を中心に JATET としてどのように関わるかの相談を受けている状況。ITEAC2023 は、今年の 9 月 18 日から 20 日までの 3 日間の開催が決定しており、現在東京の開催会場とその主催者を探しているよう。

審議内容としては、何らかの形で JATET として協力をお願いしたいことが 1 点、会議テーマは持続可能性、デジタルによる技術革新、コミュニティの 3 つで、これらについての話題提供を全ての部会の中で検討することが 2 点目、JATET が東京の主催者（パートナー）になることの可能性についてが 3 点目となる。

長谷川理事より第 13 号議案について補足説明。

ITEAC というイベントに関して過去を遡るとロンドンで開催されたときに本杉先生が話題提供として現地に出向きお話をした経緯がある。今回の件に関しては、本来は ITEAC2022 として開催される予定だったが、コロナ禍の影響で延期になっており、今年 2023 年 9 月に開催する予定で話が進んでいた。この話は当初、(有) 香山建築研究所の香山氏に話があり、その後、私が引継いだ。また、同時に ITEAC から椅子のコトブキの会長に相談を入れ日本でイベントに協力出来ないかと打診があった。現状の窓口としては、私とコトブキの社長の二人で相談に乗っている状況。

2022 年に 2023 年のイベントに向けたプレイベントを開催しようという事で、Web 上で各国からコンテンツ提供しながら話題提供をしてほしいと要望があった。これについて私の方からいくつか話題提供を行った。昨年 10 月に Web 上で日本からの話題提供を

皮切りに香港、ロンドン、アメリカが話題提供を行った。このように Web を通じて各国で 24 時間連続してシンポジウムのように話題提供し合うイベントが行われた。

JATET という組織が日本の中では、この話題を受け入れるのに一番相応しいと思っていたので、建築部会の戸田氏に相談させて頂いて、建築部会としてこの話題提供に協力したいという事になり、この話を建築部会中心に話題提供していた。話題のテーマは大きく 3 つあり「デジタル」「コミュニティ」「サステイナブル」という内容で、サステイナブル、コミュニティに関しては建築部会で関われるが、デジタルに関しては建築部会以外の各部会で話題提供できるのではないかと思っている。ついては私の方でこの件に関して各部会に説明が必要であれば説明することを考えている。

もう一つは JATET が日本側の主催者として東京でハブ会場を設けてほしいとの要望がある。これについてパートナーとなり協力するかどうかを検討頂きたい。

議案説明の後、下記の質疑があった。

進捗として KAAT がその会場となるのか。(伊東会長)

神奈川芸術劇場 KAAT が今年のコンテンツとして「演劇のサステイナビリティ」をテーマにセミナーのようなものを企画しているようで、その関係もあり会場候補に挙げたが空きがないので断られた。その後、東宝国際部に相談があり難しいということで、世田谷の高萩氏に相談し、世田谷パブリックシアターや東京芸術劇場はどうですかと聞いたところ無理だと断られたので、会場の候補は現状決まっていない状況。ロンドンの意向として会場は、東京を希望している。(長谷川理事)

話題提供に関しては、私の方で日本建築学会の文化施設小委員会と日本劇場技術者連盟にも協力をお願いしているので、話題提供に関しては、JATET だけではない。(長谷川理事)

入場料が決まっているという話のだが、オンラインへ参加するための料金か。また、オンラインとは別のフィジカルに出席する時の入場料はどうなっているか。(小川理事)  
コンテンツへの参加費用として 150 ポンド程度、これとは別に会場で出席する人は別途入場料が必要。後者の入場料に関しては、日本側に委ねられている。(長谷川理事)

日本のコンテンツやスピーカーも演出家などを考えているようだ。

JATET のようなハードウェアの作り手ではなく、ソフトウェアの作り手の方が向いているのではないか。(西理事)

今年度の JATET の事業計画及び予算が確定しているのと、実施時期が 9 月という事で対応が間に合わない。また、どちらかと言うとハードウェアよりの話ではなくソフトウェアよりの話なので、東京の主催者になるのは実現性がないのではないか。(伊東会長)

質疑の後、審議に入り第 13 号議案 ITEAC の件について

- ・テーマに対する話題提供への協力について、全員一致で可決承認された。
- ・JATET が東京の主催者（パートナー）になることが出来ないことについて、11 名中 10 名の賛成により可決承認された。

第 14 号議案 高田一郎さんを偲ぶ会の件について

資料-11

中川専務理事より第 14 号議案について説明。

JATET 会長を務めていただいた高田一郎先生が昨年 9 月 1 日に逝去されたが、日本舞台美術家協会の有志の皆様を中心に「高田一郎先生を偲ぶ会」を開催することが決まった。昨年 12 月 20 日から会合を重ねられて、本年 4 月 25 日（火）15:00 から六本木併

優座劇場を会場として開催されるとのこと。会費は2,000円で、当日受付精算となる。JATETとしても何らかの協力をしたいと考えているが、発起人の方からは、JATETへの協力依頼として2万円の協力をお願いできないか相談を受けている。高田先生が会長を務めていただいた時期の執行部の皆様を招待することも検討したい。皆様のご意見を伺い、どのように協力するか審議に諮る。

議案説明の後、下記の質疑があった。

本件については、まず、JATETという協会から協力依頼金として2万円を支出するかどうか。もう一つは4名の招待枠の人選をどうするか。(伊東会長)

審議頂きたい事項は、もう二つある。JATETニュースでこれを広報して頂きたいのとJATETの会員の中で協賛して頂けるところがあればお願いしたい。(森理事)

協賛いただく会員への案内は、偲ぶ会実行委員会からのお願いではないかと思われる。(伊東会長)

3月3日に実行委員会があるので、そこで決議して改めてお願いすることにする。(森理事)

JATETの組織としてこのような協力金に支出することが出来るのか。(伊東会長)  
慶弔費として支出することになる。(中川専務理事)

前回の理事会の時にJATETもOISTATも独自に偲ぶ会を行う予定はないが、日本舞台美術家協会が行うのであればという報告があったので、日本舞台美術家協会のスタンスをお聞きしたい。(小川理事)

日本舞台美術家協会としては前例がないので主催としては動かないとのこと。(森理事)

前回の議論では日本舞台美術家協会が主催であれば協力するとなっていたが、偲ぶ会が主催でも協力するかが審議の内容になる。(伊東会長)

質疑の後、審議に入り第14号議案 高田一郎さんを偲ぶ会の件について、11名中10名の賛成により可決承認された。

#### 第15号議案 JATET WEBSITEの件について

資料-12

中川専務理事より第15号議案について説明。

広報部会にて、JATETのウェブサイトについて現状の問題点を整理し、基本構造の改修提案を提出いただいた。

広報部会長の西理事から補足説明。

JATETウェブサイトは立上げから構成やデザインが変わっておらず、早急な大改修が必要な状況である。詳細については資料-12を参照。

議案説明の後、下記の質疑があった。

予算化はされているのか。(伊東会長)

現状、次年度の予算としては計上されていないが、上半期で検討を進め予算については、ウェブサイト改修に係る費用が明らかになってから別途相談させて頂くこととする。(中川専務理事)

質疑の後、審議に入り第15号議案

JATET WEBSITEの改修には着手するが、予算は別途検討するという条件付きで、全員一

致で可決承認された。

5. その他

1) 第 64 回定例理事会開催日程について

第 64 回定例理事会は、令和 5 年 4 月 19 日（水）10 時 30 分から開催予定とする。

2) 閉会

17 時 00 分 伊東会長が閉会を宣言して終了した。

令和5年2月28日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会  
第63回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 伊東正示)	伊東正示	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (西村岩夫)	西村岩夫	